

2025

Andante Largo



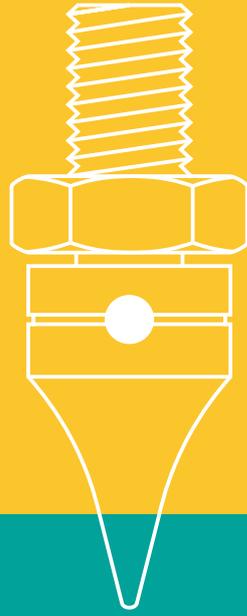
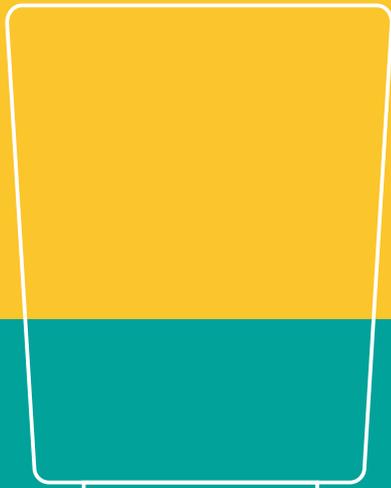
価格表はこちら >>



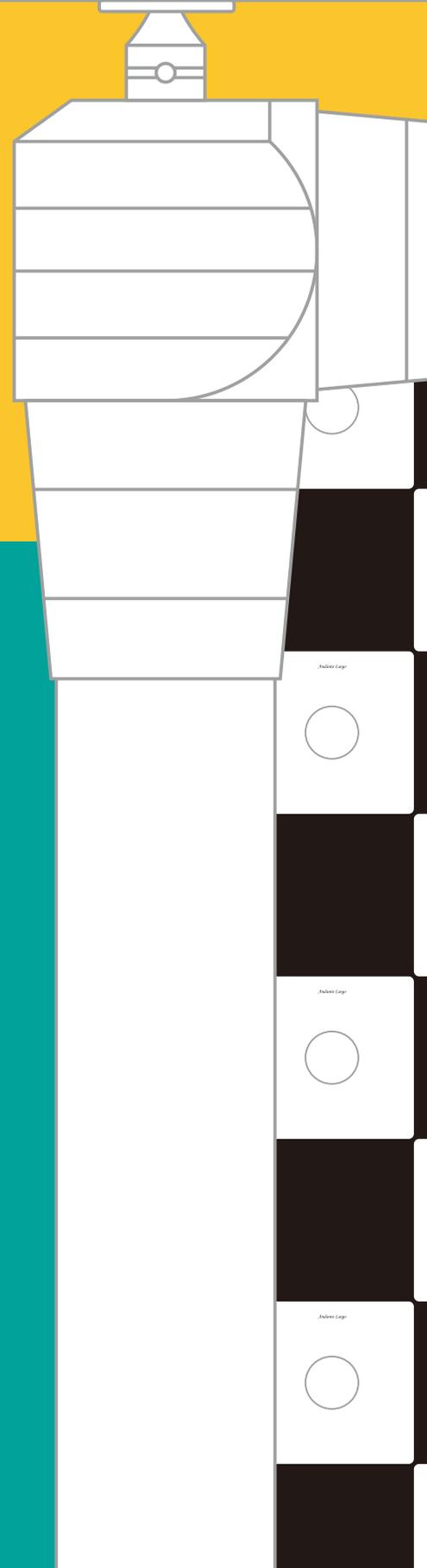
2025



Andante Largo



For The Feeling of Presence



Super
接点安定剤
STMD-10 TMD
Andante Largo

Contents

もくじ

ジャンル	ページ	タイトル
ラック類	2	ラック・テーブル・ボードの設計について
ラック類	4	グランドシリーズ
ラック類	8	リジッドシリーズ
ボード	12	ウィーフォーク ボード
ボード	14	プリモ ボード
スパイク受け	16	サイレントマウント と ソリッドマウント
レコード内袋	22	AL スリーブ
接点安定剤	24	スーパー TMD
スパイク	26	スルーホール スパイク
全製品	28	1 週間のデモ機お試し貸出しについて
全製品	30	ユーザー様 ご使用例
全製品	34	アンダンテラルゴの 3 つの音質評価スケール
ラック類	38	寸法表 および 各種オプション
全製品	47	保証について

アンダンテラルゴオリジナル製品カタログをご覧ください、誠にありがとうございます。
弊社の輸入製品「コードカンパニー&イングリッシュエレクトリック(英国/ケーブル等)」のカタログは別途ご用意しております。無料送付も承っておりますので、下記連絡先までお気軽にご用命ください。

- カタログ お申し込みフォーム (弊社ホームページ内 または 下記 QR-1 から)
: www.andante-largo.com/catalog-form
- フリーダイヤル : 0120-77-3412 (カタログ請求受付 : 月~金 10 ~ 15 時 / 祝日等除く)
- 住所 (お手紙) : 〒189-0013 東京都 東村山市 栄町 2-31-16-201
- メール : info@andante-largo.com
- FAX : 042-394-7155
- ホームページ上での閲覧 (弊社ホームページ内 または 下記 QR-2 から)
: www.andante-largo.com/catalogue-chordcompany



QR-1
(カタログ請求)



QR-2
(コードカンパニー PDF)



コードカンパニー&イングリッシュエレクトリックとは？

コードカンパニーは英国にて 1985 年創業のオーディオケーブルメーカー。イングリッシュエレクトリックは、そのネットワーク AV 部門です。彼らは技術革新のみならず、それを巧みに活かして「心に響く音」を届けることを重視しています。アンダンテラルゴは、この「音楽好きによる、音楽好きのための」本ブランドの輸入も行っております。

Grand Series

グランドシリーズ

→4ページ



Rigid Series

リジッドシリーズ

→8ページ



Weefolk Board

ウィーフォークボード

→12ページ



Primo Board

プリモボード

→14ページ



共通の
設計ポリシー

Technologies of RACK, TABLE and BOARD

ラック・テーブル・ボードの設計について

アンダンテラルゴのラック類(ラック・テーブル・ボード)は全て、下記のポリシーで設計されています。

「軽量」

例：パイプのジョイント等の超々ジュラルミン製パーツ
チタン製パイプ/棚板のくり抜き等(※)

重量級のラックやボードは振動に強い(振動しにくい)と思われがちですが、実際にはスピーカー等からのエネルギーによって必ず振動しています。ラックやボードの重量と搭載機器の重量が合わさり、より低い周波数帯域で共振しているのです。

そして重量が大きいものは1度振動し始めると、すぐには静止しません。これが精密な機器にとっては非常に大きなストレスとなり、再生音に悪影響を及ぼします。

軽いラックやボードの利点は慣性重量が小さいため、オーディオ・映像環境において難題である振動の減衰が容易になることです。そのため、ラック類は軽量に設計すべきであると考えております。(GT503 Midの場合、重量は11.4kg)

「堅牢」

例：パイプのジョイント等の超々ジュラルミン製パーツ
チタン製パイプ/高強度な構造用接着剤「3M DP-460」等(※)

一般的な組み立て式のラックには、拡張性等のメリットがあります。しかしネジを多用した構造体は強度の安定した確保が難しく、揺れやすくなる傾向があります。また長期間使用するうちに振動や湿度、気温の上下等でネジが緩み、これも揺れの原因となります。「軽量」の項目と少し重複しますが、強度不足による振動も機器の動作上、大きな障害となります。

アンダンテラルゴは、拡張性等の使いやすさよりもオーディオ・映像用アクセサリとしての「本質」を追求。素材や構造を徹底的に吟味し、極めて高強度な設計としています。堅牢でかつそれを半永久的に持続させること・・・それは、こだわりの機器の性能とアーティスト達の情熱を末永く、最大限に引き出すために、必要不可欠なのです。

「コンパクト」

例：装飾を排したシンプルデザイン
多彩なサイズ展開等

ラックを必要以上に大きくすると重量は増え、強度の確保も難しくなり、結果的に振動に弱くなります。

必要最小限なサイズに留めることは、軽量・堅牢設計への近道です。そのため、極力無駄を排したシンプル・コンパクトな設計とし、多彩なサイズ展開をご用意しています。

「制振」

例：パイプ内部のシリコン・羊毛・キャンセルボール
棚板のくり抜き等(※)

上記の3項目も制振において不可欠ですが、その他にも様々な技術を盛り込んでいます。軽量・堅牢な構造物ほど高いレベルが要求される「鳴き」のコントロールを、最小限の重量増で実現しています。

※ ウィーフォークボードとプリモボードは構造が一部異なります

・ Grand Tower 用 コーナージョイント
(超々ジュラルミン製)



・ 棚板のくりぬき (写真は「KT」形状)



・ パイプ内部の制振処理(※)



GT503Mid、GS621、GB540
スパイク受けは別売です



GRAND SERIES

グランドシリーズ

ラック・テーブル・ボード

概要 (技術的詳細は次ページへ)

リジッドシリーズ(8ページ参照)開発時のポリシー「**軽量・堅牢・コンパクト・制振**」を守りつつ、コストの制約無しに**理想を追求**した結果、Grandシリーズが誕生しました。特に強度を決定づけるパイプのジョイント部は、超々ジュラルミン A7075 を用いた完全新設計です。

カラー(特注も承ります)やサイズ、段数等の多彩なバリエーションから、お持ちのシステムにぴったりの仕様を1台1台製作いたします。GT683は、1週間のお試し貸出し(28ページ参照)も承っております。私共の考える「究極のラック」をぜひご体験ください。

◎推奨サイレントマウント: SM-5TX(総重量 25 kg以上) / SM-3TX(25 kg以下) / 16ページ



・GT683 + SM-5TX (使用例)

Grand Tower (グランタワー/多段ラック)

GT 743 Mid

① ② ③

① 高さ : 「74」・・・全高 74cm

② 段数 : 「3」・・・3段

③ 棚板サイズ:(表記ナシ)・・・620 × 517 mm
「Mid」・・・540 × 445 mm

- | | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| ● GT 935 | ● GT 935 Mid | ● GT 684 | ● GT 684 Mid |
| ● GT 934 | ● GT 934 Mid | ● GT 683 | ● GT 683 Mid |
| ● GT 865 | ● GT 865 Mid | ● GT 553 | ● GT 553 Mid |
| ● GT 864 | ● GT 864 Mid | ● GT 552 | ● GT 552 Mid |
| ● GT 744 | ● GT 744 Mid | ● GT 503 | ● GT 503 Mid |
| ● GT 743 | ● GT 743 Mid | ● GT 502 | ● GT 502 Mid |

○ サイズやオプション等は、巻末の寸法表をご参照ください



GT683



・GS541 + SM-5TX (使用例)

Grand Solo (グランソロ/プレーヤー台)

GS 542

① ②

◎ 高さは全て 445mm

○ サイズやオプション等は、巻末の寸法表をご参照ください

① 棚板サイズ

「62」・・・620 × 517 mm

「54」・・・540 × 445 mm

「49」・・・490 × 400 mm

② 段数

「1」・・・1段

「2」・・・2段

● GS 621

● GS 622

● GS 541

● GS 542

● GS 491

● GS 492



GS 541



・GB540 + SM-3TX (使用例)

Grand Base (グランベース/オーディオボード)

GB 490

◎ 棚板サイズ

◎ 高さは全て 110mm

○ サイズやオプション等は、巻末の寸法表をご参照ください

◎ 「620」・・・620 × 517 mm

◎ 「540」・・・540 × 445 mm

◎ 「490」・・・490 × 400 mm

● GB 620

● GB 540

● GB 490



GB 540

軽量で強固なチタンパイプ

フレームには、32mm 径 / 1mm 厚のチタン製パイプを採用。下記のようなメリットがあり、オーディオラックに最適な素材であると考えております。

- 軽量なため、振動のコントロールがしやすい
- 強度が高い
- 非磁性体である
- 素材特有の、音へのキャラクター付けが少ない
- 錆びに強い
- 1本モノのパイプを使用しているため、経年劣化の心配が少ない



パイプ内部の制振処理

全てのチタンパイプ内部に3つの制振処理を施しています。堅牢なフレームほど難しくなる振動のコントロールを、最小限の重量増で実現しました。

① 内壁へのシリコンコーティング

→ 試聴により厳選したシリコン材を使用。パイプ全体の振動と、内部での共鳴音を抑えます。

② 「キャンセルボール」の配置

→ パイプ中央の内壁、シリコンコーティング上に「キャンセルボール」を設置。ある程度自由に動く金属ボールとパイプが、互いの振動を打ち消し合います。サイレントマウントテクノロジー（17ページ参照）の応用技術です。

③ 吸音材の挿入

→ 上記2点の処理後、空洞部分にオーストラリア産の羊毛を挿入して内部の反響を防ぎます。特有の音色も乗らず、軽量の素材です。



特殊な積層合板による棚板

十分な強度を確保しつつ、素材特有のキャラクターで再生音に色付けしないことを最優先として開発した13層の特殊な積層合板です。

また、棚板自体の制振と軽量化、そして機器⇄棚板間の共鳴を防ぐため、「KT」タイプ棚板の場合は中央に非対称形状の開口部を設けています。

「KT」の他、小型機器向けの穴無しも含めて各種形状をご用意しています。厚さは2種、色は3種展開。詳細は巻末の「寸法表」をご覧ください。

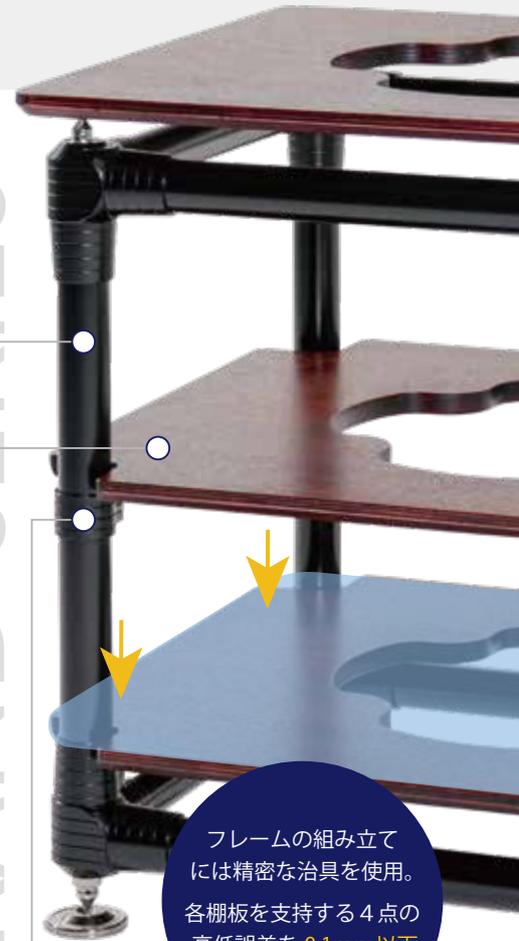


フレーム製作に構造用接着剤

雑音の発生や音・映像の混濁を防ぐため、フレームづくり(ジョイントとパイプの組み付け等)に溶接やネジは使用していません。

■ 溶接・・・溶接する箇所により、熱による膨張・収縮が発生します。そのためフレームを組んで冷えた頃には、全体に歪み(=ストレス)が残ってしまいます。

■ ネジ止め・・・強度の確保が難しい上、経年と共にネジが緩んで強度が低下します。また、組み立て方によっても強度に大きな差が発生します。



フレームの組み立てには精密な治具を使用。各棚板を支持する4点の高低誤差を0.1mm以下に抑えています。

中間・最下段ブラケットも超々

グランタワーでは、中間段の棚板の支持にも超々ジュラルミン製の特注ブラケットを使用しています。

「コーナージョイント」と同様に、超々ジュラルミン A7075 からの精密切削で製作。構造用接着剤(3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460)を用いつつ、厳格な位置出し(各段四隅の水平)でチタンパイプにしっかりと固定しています。

超々ジュラルミン製「コーナージョイント」

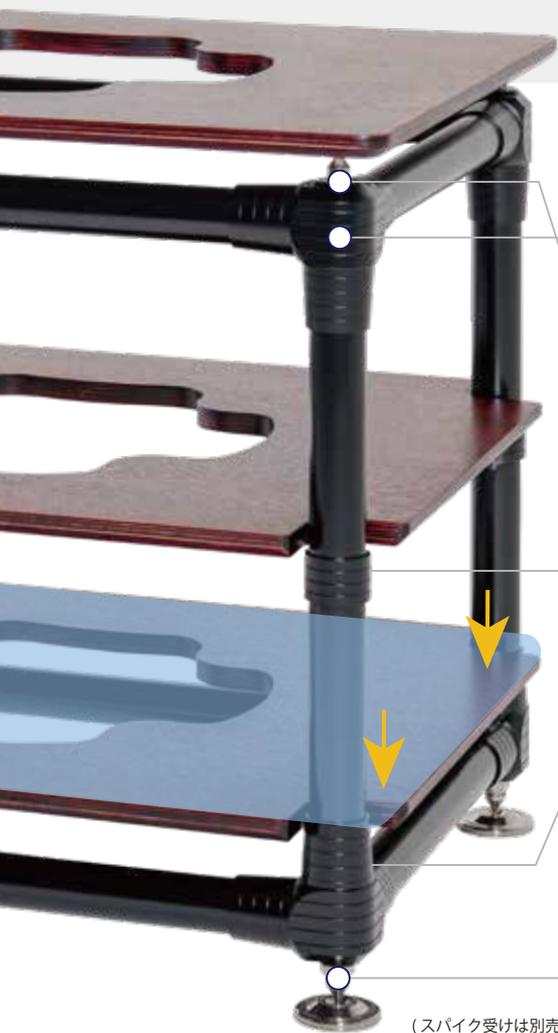
アンダンテラルゴでは、フレームづくりに高強度な構造用接着剤(3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460)を使用しています。

航空機やレーシングカーでも用いられるもので、ストレスを残すことなく組み上げつつ、十分な強度を永く保つことができます。



パイプフレーム構造では、各パイプを繋ぐジョイント部に最も強度が要求されます。堅牢・軽量を追求し、「コーナージョイント」には超々ジュラルミンA7075を採用。CNCによる精密切削で、1個あたり6時間かけて丁寧に製作しています。

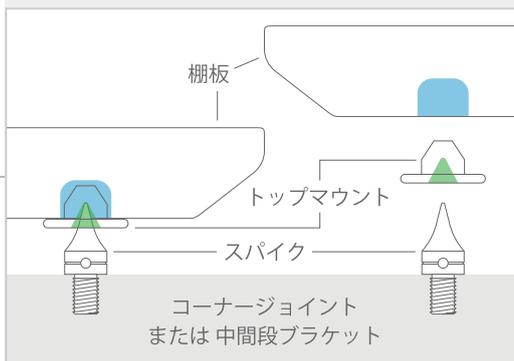
また、パイプを外側から包む(リジッドシリーズは内側に入る)形状により、接着面積が飛躍的に拡大。堅牢なフレームを構成する上で最も重要な部品です。



(スパイク受けは別売です)

スパイクによる支持

各棚板の支持と脚部には、スパイクを採用しています。スパイクでの支持には、大きく分けて2つのメリットがあります。



- 振動伝達の軽減
→ ラックに載せた機器同士の干渉や、スピーカーからプレーヤー等への、床やラックを介した振動伝達を軽減できる
- 安定した設置
→ 明確な接地によりグラつきにくい / いざ発生した振動も素早く止められる

このように機器を安定して設置しつつ、振動を効率的にカットできるため、オーディオ・映像機器の設置においてスパイクは不可欠なのです。



棚板用のスパイクと、それを受け止める「トップマウント」は、1000個ほどの中からデジタルノギスを用いて±0.01mmの精度で高さの合う4個をマッチングし、各段ごとに(混ぜずに)使用します。歪みのない設置を追求する上で、欠かせないポイントです。



脚部のスパイクには、精密な高さ調整機構を採用。通常よりも細かいピッチ(ネジが1回転して進む距離)で、繊細な調整が可能な設計です。調整後は、六角レンチでしっかりとフレームに一体化。ガタのない堅牢な設置で、ラックおよび機器のパフォーマンスを支えます。



オプションにて、棚板支持用スパイクの受け座(トップマウント)に高性能モデル「チタントップマウント」をご用意しております(標準ではステンレス製が付属)。詳細は巻末の「寸法表」をご参照ください。

ジュラルミン製

最下段はコーナージョイントと一体成型↓



RT683、ALT600、ALB12
スパイク受けは別売です



RIGID SERIES

リジッドシリーズ

ラック・テーブル・ボード

概要 (技術的詳細は次ページへ)

最初のアンダンテラゴ製品であるリジッドシリーズ。「軽量・堅牢・コンパクト・制振」を最重視した結果、一般的ラックのような拡張性、流通性など、**商業的観点からは大きく離れた製品**となりました。

同時に音質を徹底追求したラックとして、おかげさまで15年以上のロングセラーとなっております。RT683は1週間のお試し貸出し(28ページ参照)にてご体験いただけます。

◎推奨サイレントマウント：SM-5TX(総重量25kg以上)/SM-3TX(25kg以下)/16ページ

○名称と型番変更のお知らせ

ここ数年で「S」と「T」(後述)が全てのリジッドシリーズで標準装備となったため、下記のように型番を変更いたしました。また、「リジッドサブテーブル」は「リジッドベース」へ名称を変更いたしました。製品自体の仕様に変更はございません。

例1: Tower S 684 → RT 684 例2: ALT S 520T → ALT 520 例3: ALT S 520 Sub / T2 → ALB 520 / 2



Rigid Tower (リジッドタワー/多段ラック)

RT 683 Mid

① ② ③

① 高さ : 「68」・・・全高68cm

② 段数 : 「3」・・・3段

③ 棚板サイズ : (表記ナシ)・・・600×480mm
「Mid」・・・520×410mm

● RT 866 ● RT 866 Mid ● RT 504 ● RT 504 Mid
● RT 865 ● RT 865 Mid ● RT 503 ● RT 503 Mid
● RT 864 ● RT 864 Mid ● RT 502 ● RT 502 Mid

● RT 685 ● RT 685 Mid ○ サイズやオプション等は
● RT 684 ● RT 684 Mid 巻末の寸法表をご覧ください
● RT 683 ● RT 683 Mid

RT865



・ ALT12 + Solid Base Attachment (使用例)



Rigid Table (リジッドテーブル/プレーヤー台)

ALT 520

◎棚板サイズ

◎「600」・・・600×480mm

◎「520」・・・520×410mm

◎「12」・・・470×370mm

◎高さは全て465mm

○サイズやオプション等は巻末の寸法表をご参照ください

● ALT 600

● ALT 520

● ALT 12

ALT600



・ ALB520 + SM-3TX (使用例)



Rigid Base (リジッドベース/オーディオボード)

ALB 600 / 2

① 棚板サイズ ② 高さ

①「600」・・・600×480mm

①「520」・・・520×410mm

①「12」・・・470×370mm

● ALB 600

● ALB 520

● ALB 12

②表記ナシ : 90mm

②「/2」 : 130mm

ALB12

○サイズやオプション等は巻末の寸法表をご参照ください



軽量で強固なチタンパイプ

フレームには 25mm径/1mm厚のチタン製パイプを採用。下記の様なメリットがあり、オーディオラックに最適な素材であると考えております。

- 軽量なため、振動のコントロールがしやすい
- 強度が高い
- 非磁性体である
- 素材特有の、音へのキャラクター付けが少ない
- 錆びに強い
- 1本モノのパイプを使用しているため、経年劣化の心配が少ない



パイプ内部の制振処理

全てのチタンパイプ内部に3つの制振処理を施しています。堅牢なフレームほど難しくなる振動のコントロールを、最小限の重量増で実現しました。

① 内壁へのシリコンコーティング

→ 試聴により厳選したシリコン材を使用。パイプ全体の振動と、内部での共鳴音を抑えます。

② 「キャンセルボール」の配置

→ パイプ中央の内壁、シリコンコーティング上に「キャンセルボール」を設置。ある程度自由に動く金属ボールとパイプが、互いの振動を打ち消し合います。サイレントマウントテクノロジー(17ページ参照)の応用技術です。

③ 吸音材の挿入

→ 上記2点の処理後、空洞部分にオーストラリア産の羊毛を挿入して内部の共鳴を防ぎます。特有の音色も乗らず、軽量の素材です。



特殊な積層合板による棚板

十分な強度を確保しつつ、素材特有のキャラクターで再生音に色付けしないことを最優先として開発した13層の特殊な積層合板です。

また、棚板自体の制振と軽量化、そして機器⇄棚板間の共鳴を防ぐため、「KT」タイプ棚板の場合は中央に非対称形状の開口部を設けています。

「KT」の他、小型機器向けの穴無しも含めて各種形状をご用意しています。厚さは2種、色は3種展開。詳細は巻末の「寸法表」をご覧ください。

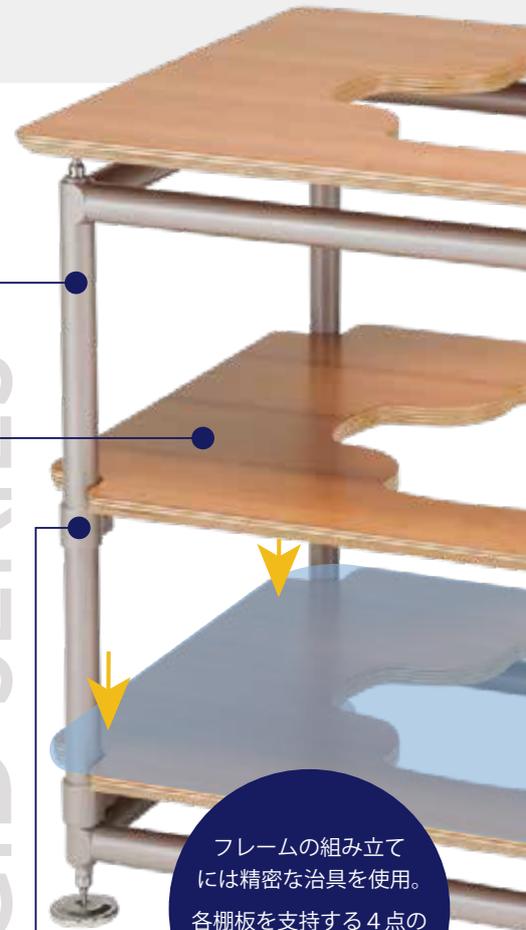


フレーム製作に構造用接着剤

雑音の発生や音・映像の混濁を防ぐため、フレームづくり(ジョイントとパイプの組み付け等)に溶接やネジは使用していません。

■ 溶接・・・溶接する箇所により、熱による膨張・収縮が発生します。そのためフレームを組み立てた際には、全体に歪み(=ストレス)が残ってしまいます。

■ ネジ止め・・・強度の確保が難しい上、経年と共にネジが緩んで強度が低下します。また、組み立て方によっても強度に大きな差が発生します。



RIGID SERIES

フレームの組み立てには精密な治具を使用。各棚板を支持する4点の高低誤差を0.1mm以下に抑えています。

中間・最下段ブラケットは超々

リジッドタワーでは、中間・最下段の棚板の支持に特注のブラケットを使用しています。

超々ジュラルミン A7075 からの精密切削で製作。高強度な構造用接着剤(3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460)を用いつつ、厳格な位置出し(各段四隅の水平)でチタンパイプにしっかりと固定しています。

アルミダイキャスト製「コーナージョイント」

フレームのコーナー部に使用する3方(2方)ジョイント「コーナージョイント」は、アルミダイキャストから精密切削で製作。応力のかかり方を徹底的に研究した上で設計し、軽さと堅牢性を両立させています。



パイプとの接合部には無数の溝を配し、接着強度を飛躍的に向上させました。



アンダンテラルゴでは、フレームづくりに高強度な構造用接着剤(3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460)を使用しています。

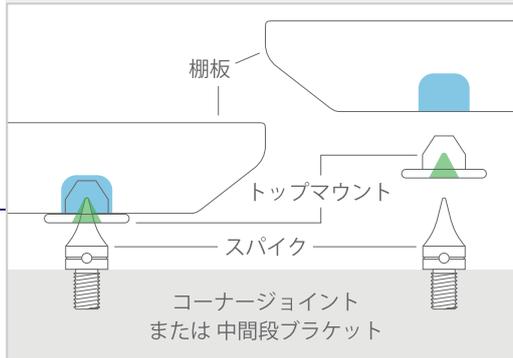


航空機やレーシングカーでも用いられるもので、ストレスを残すことなく組み上げつつ、十分な強度を永く保つことができます。



スパイクによる支持

各棚板の支持と脚部には、スパイクを採用しています。スパイクでの支持には、大きく分けて2つのメリットがあります。



- 振動伝達の軽減
→ ラックに載せた機器同士の干渉や、スピーカーからプレーヤー等への、床やラックを介した振動伝達を軽減できる
- 安定した設置
→ 明確な接地によりグラつきにくい / いざ発生した振動も素早く止められる

このように機器を安定して設置しつつ、振動を効率的にカットできるため、オーディオ・映像機器の設置においてスパイクは不可欠なのです。



棚板用のスパイクと、それを受け止める「トップマウント」は、1000個ほどの中からデジタルノギスを用いて±0.01mmの精度で高さの合う4個をマッチングし、各段ごとに(混ぜずに)使用します。歪みのない設置を追求する上で、欠かせないポイントです。



脚部のスパイクには、精密な高さ調整機構を採用。通常よりも細かいピッチ(ネジが1回転して進む距離)で、繊細な調整が可能な設計です。

調整後は、六角レンチでしっかりとフレームに一体化。ガタのない堅牢な設置で、ラックおよび機器のパフォーマンスを支えます。



オプションにて、棚板支持用スパイクの受け座(トップマウント)に高性能モデル「チタントップマウント」をご用意しております(標準ではステンレス製が付属)。詳細は巻末の「寸法表」をご参照ください。

ジュラルミン製



上から WF-320、WF-470、WF-520、WF-600
スパイク受け(写真はSD-3)は別売です



WEEFOLK BOARD

ウィーフォークボード

オーディオボード

ラインナップ

● カラーは3種類(右写真、上からナチュラル/ブラウン/ブラック)

○ サイズ等の詳細は巻末の寸法表をご参照ください

● 穴ナシ棚板でも製作可

● WF-600・・・600×480×70mm

● WF-520・・・520×410×70mm

● WF-470・・・470×370×70mm

● WF-320・・・320×285×70mm

付属品：専用工具(スパナ・棒/水平調整等に)

○ 推奨スパイク受け(詳細は16ページへ)

SD-3/B4・・・35mm径/ブラック/4個組

SM-5X/B4・・・50mm径/ブラック/4個組

SM-5X/P4・・・50mm径/ポリッシュ/4個組



詳細

専用設計のスパイク脚や非対称な開口部の採用等、リジッドシリーズ開発の際に得たノウハウを盛り込みつつ、コンパクトにデザインしたオーディオボードです。

シンプルな設計の中に他シリーズと同様、「軽量・堅牢・コンパクト・制振」のコンセプトが凝縮されています。1週間のお試し貸出し(28ページ参照)も承っております。

単体での使用はもちろん、WF-320等の小さめのモデルをひと回り大きいグランソロやリジッドテーブルと併用することで、スタイリッシュな2段構成でもお使いいただけます。

こだわり

● 脚部の先端には、床等からの振動伝達を効率的にカットするスパイク機構を採用。優れた振動制御と、(専用工具による)ガタの無い精密な高さ調整が、機器の安定した動作に大きく貢献します。

構造用接着剤
DP-460

● 脚部(黒い部品)は高強度なアルミから精密切削で製作。堅牢な設置に貢献します。

● 天板と脚部の接合部には、弊社グランドシリーズの他、レースカー等にも用いられる超高強度な接着剤「3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460」を使用。

● 天板には13層の特殊な積層合板を採用。再生音への色付けを抑えながら、制振性と強度、(湿度等による)歪みにくさを高次元で実現しています。

● 天板には非対称形状の開口部を設け、機器底面との間で発生するレゾナンスや天板自身の共鳴を抑制。穴の形状は巻末「寸法表」をご参照ください。なお、小型の機器や複数台の搭載を想定した穴無し天板もご用意しています。

● 耐荷重40kg(4点脚の場合。3点脚の機器や複数台を載せる場合は30kg)



(スパイク受けは別売です)



付属の専用工具による精密な高さ調整

・ WF-470 + SD-3 (使用例)



・ ALT12 + WF-320 + SM-5X + SD-3 (使用例)





PRIMO BOARD

プリモボード

オーディオボード

ラインナップ

- PB280 : 280mm×300mm×32mm
- PB220 : 220mm×198mm×32mm

- カラー：艶消しブラック
- 付属品：スパイク受け・ロゴ銘板
- サイズ等の詳細は巻末の寸法表をご参照ください



詳細

リーズナブルな価格を目指しつつ、アンダンテラルゴ製品ならではのポイント「軽量・堅牢・コンパクト・制振」をしっかり備えたコンパクトなオーディオボードです。

筐体の小型化が進む昨今のオーディオ事情に対応し、弊社ボードの中で最小サイズとなる「PB220」と、マランツ M-CR612 等の小型コンポおよび各種プレーヤーの電源部等に最適な「PB280」の2種類のラインナップをご用意しています。

初めての振動対策や、つい直置きになりがちだった機器の下など、様々な環境にぜひお試しください。1週間のお試し貸出し(28ページ参照)も承っております。お気軽にご利用ください。



PB220 お客様 使用例

こだわり

- 棚板の素材には制振性と強度、(湿度等による)歪みにくさを高次元で実現する**特殊な積層高密度合板**を採用。
- 棚板には**非対称形状の開口部**を設け、機器底面との間で発生するレゾナンスや棚板自身の共鳴を抑制。穴の形状は巻末「寸法表」をご参照ください。
- 脚部は設置面からの振動伝達を効率的にカットする**スパイク機構**。素材には厳選した特殊ステンレスを採用しています。
- アンダンテラルゴのラック類で初の3点脚を採用。微調整不要でカンタンに設置&使用が可能です。
- 棚板と脚部スパイクの接合には、レースカー等にも用いられる**高強度な接着剤**を使用。
- 「Andante Largo」ロゴのステンレス銘板が付属。裏面は両面テープが付いておりますので、お好みの位置に貼り付けてご利用いただけます。
- 耐荷重 20kg



PB280



・ PB280 + Marantz M-CR612 (使用例)



・ PB220 + Marantz MODEL MI (使用例)



・ PB280 (使用例)





SILENT MOUNT & SOLID MOUNT

サイレントマウントとソリッドマウント

SD & スパイク受け

スパイク脚本来のメリットは？

- 振動伝達の軽減
→ 機器同士の振動伝達、特にスピーカーからプレーヤー等への、床やラックを介した振動伝達を軽減できる
- 安定した設置
→ 明確な接地により機器のグラつきを防ぐ
→ いざ発生した共振も素早く止められる (= ずっと揺れたまま、という状態を防ぐ)

このように機器を安定して設置しつつ振動を効率的にカットできるため、オーディオ・映像機器の設置にはスパイク脚がベストの方式であると考えております。

アンダンテラルゴのスパイク受けは

スパイク脚ならではの「振動の減衰」と「安定した設置」を最大限に活かすため、下記の2点を重視して設計しました。

- ① 徹底した低重心設計
→ スパイクを受け止める高さを極限まで低くし、低重心化によって安定させる (横揺れしやすくと、スピーカーの場合はエネルギーが逃げ、ラックは揺れたままになりやすい)
- ② スパイクを強固に受け止めつつも、スパイク受け自身の振動は抑えて素材特有の音色づけや歪みを排除すること
→ サイレントマウントテクノロジーの開発・採用 (ソリッドマウントシリーズを除く)

その他、素材や形状に研究を重ねた結果、しなやかな表情、時にダイナミックなサウンドなど、作り手が伝えたい本来の表現を引き出します。

また、ソリッドマウントシリーズでは、サイレントマウントテクノロジーは非搭載ながら、サイレントマウント開発の際に得た他の様々なノウハウ (適切な素材選択や形状等) を盛り込むことで、サイレントマウントに迫る性能とリーズナブルな価格を両立しています。

サイレントマウントテクノロジーとは

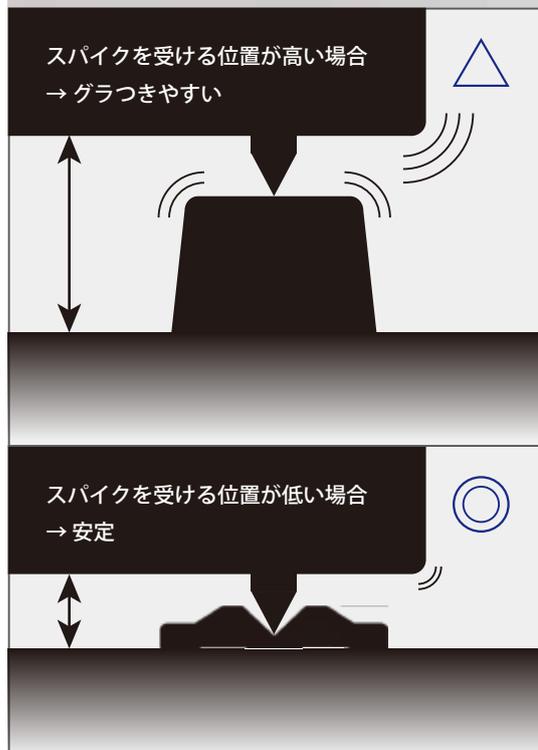
スパイクをしっかりと受け止められる強固な素材は、単体では軽く弾くだけで「チーン」と鳴ってしまう、すなわち共鳴しやすいものばかりです。そしてそれらの試作品では、各々の素材特有の色付けが音楽に現れてしまいました。

この素材特有の鳴きを抑えるため、もう一つの金属素材 (キャンセルリング) を裏面に組み合わせ、2重構造とすることで共鳴をキャンセルさせる (打ち消す) 技術が「サイレントマウントテクノロジー」です。

スパイクをしっかりと受け止めるための「堅牢」と「制振」を両立しています。

お試し貸出し (1週間) 対象製品

サイレントマウントシリーズ、およびソリッドマウントシリーズは、1週間のお試し貸出し対象製品です。本製品の効果やお手持ちの機器との適合を、ご自宅ですっきりお試しください。詳細は28ページをご覧ください。

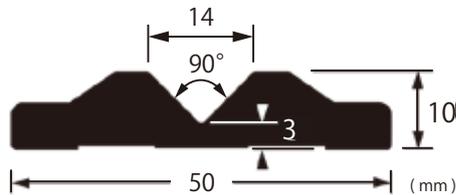




Silent Mount SM-5X

ラック・プレーヤー・アンプ用のスタンダードモデル。

- 本体の材質 特殊ステンレス
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用 (2重構造)
- カラー ブラック/ポリッシュ
- 用途 ラック、プレーヤー、アンプ等
- 対応スパイク 先端の角度が70° 以内のもの
- 耐荷重 80kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール / 取付補助工具
- 重量 100g (1個あたり)



● ラインナップ

SM-5X/B4
(ブラック / 4 個入)

SM-5X/B3
(ブラック / 3 個入)

SM-5X/P4
(ポリッシュ / 4 個入)

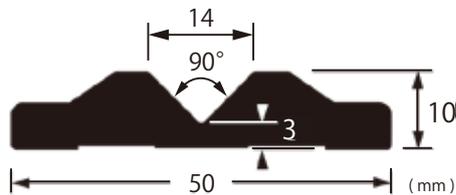
SM-5X/P3
(ポリッシュ / 3 個入)



Silent Mount SM-5TX

ラック・プレーヤー・アンプ用の高性能モデル。
軽量で制振性に優れるチタン削り出しボディを採用。

- 本体の材質 チタン
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用 (2重構造)
- カラー ポリッシュ
- 用途 総重量25kg以上のラック、プレーヤー、アンプ等
- 対応スパイク 先端の角度が70° 以内のもの
- 耐荷重 80kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール / 取付補助工具
- 重量 60g (1個あたり)



● ラインナップ

SM-5TX/P4
(ポリッシュ / 4 個入)

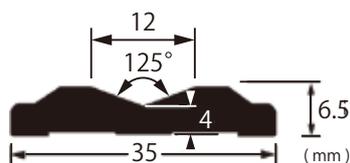
SM-5TX/P3
(ポリッシュ / 3 個入)



Silent Mount SM-3TX

軽量なプレーヤー・アンプ・プレーヤー台等に特化した設計。
5TXより更に小型ゆえ軽量な、チタン削り出しボディ。
総重量25kg以下の軽量な搭載物にベストマッチです。

- 本体の材質 チタン
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用 (2重構造)
- カラー ポリッシュ
- 用途 総重量25kg以下のラック、プレーヤー、アンプ等
- 対応スパイク 先端の角度が100° 以内のもの
- 耐荷重 30kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール
- 重量 20g (1個あたり)



● ラインナップ

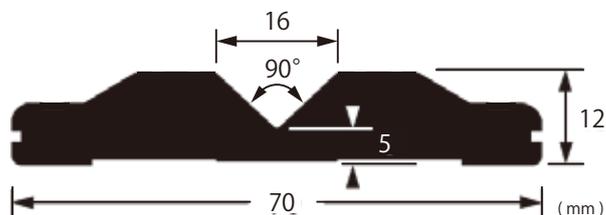
SM-3TX/P4
(ポリッシュ / 4 個入)

SM-3TX/P3
(ポリッシュ / 3 個入)

Silent Mount SM-7X

スピーカー用のスタンダードモデル。

- 本体の材質 特殊ステンレス
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用 (2重構造)
- カラー ブラック / ポリッシュ
- 用途 スピーカー
- 対応スパイク 先端の角度が 70° 以内のもの
- 耐荷重 150kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール / 取付補助工具
- 重量 240g (1個あたり)



● ラインナップ

SM-7X/B4
(ブラック / 4 個入)

SM-7X/B3
(ブラック / 3 個入)

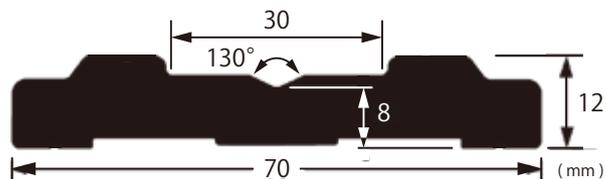
SM-7X/P4
(ポリッシュ / 4 個入)

SM-7X/P3
(ポリッシュ / 3 個入)

Silent Mount SM-7FX

SM-7Xをベースに、用途を広げました。
鈍角スパイクや平型脚にも対応しています。

- 本体の材質 特殊ステンレス
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用 (2重構造)
- カラー ブラック / ポリッシュ
- 用途 スピーカー
- 対応スパイク 先端の角度が 110° 以内のもの
- 耐荷重 150kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール / 取付補助工具
- 重量 240g (1個あたり)
- その他 平型脚にも対応 (直径または対角が30mm以内)



● ラインナップ

SM-7FX/B4
(ブラック / 4 個入)

SM-7FX/B3
(ブラック / 3 個入)

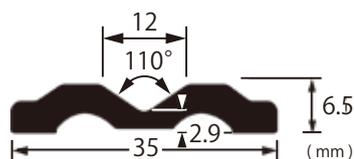
SM-7FX/P4
(ポリッシュ / 4 個入)

SM-7FX/P3
(ポリッシュ / 3 個入)

Solid Mount SD-3

形状等にノウハウを投入し、単一構造でも
十分な制振性と音質効果を発揮するエントリーモデル。

- 本体の材質 特殊ステンレス
- 構造 制振形状の単一構造 (サイレントマウントテクノロジー非搭載)
- カラー ブラック
- 用途 総重量25kg以下のラック、プレーヤー、アンプ等
- 対応スパイク 先端の角度が 100° 以内のもの
- 耐荷重 30kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール
- 重量 35g (1個あたり)



● ラインナップ

SD-3/B4
(ブラック / 4 個入)



How To Use ?

スパイク受けの適切な使い分け

用途



機器によってはスルーホールスパイク(26ページ)との併用もおすすめです。

スピーカー

脚部の形状

鋭角なスパイク(※1)

鈍角なスパイク(※2)
平型脚(※3)



SM-7X



SM-7FX

- ※1：先端部の角度が70°まで
- ※2：先端部の角度が70～110°
- ※3：直径または対角の最大が30mm以内

ラック・プレーヤー
アンプ等

載せる総重量

25kg以下

性能と価格 または スパイクの形状

エントリーモデル
鈍角(※5)



SD-3

標準モデル
鋭角(※4)



SM-5X

高性能モデル
鈍角(※5)



SM-3TX

25kg以上

性能と価格

高性能モデル



SM-5TX

- ※4：先端部の角度が70°まで
- ※5：先端部の角度が70～100°

お手持ちの機器との適合確認には1週間のお試し貸出し(28ページ)をご活用ください



用途による設計の違い

振動の発生源となる「スピーカー側」と、それによる影響を少しでも抑えたい「ラック・アンプ・プレーヤー側」では、**スパイク受けに求められる設計も一部が真逆となります。**

スピーカー用

→ 本体の重量や強大な振動をしっかりと支えるため、大型な設計

ラック・プレーヤー・アンプ用

→ 安定して支えつつも、振動を受けにくい小型・軽量設計



付属品

● フェルトシール (スパイク受け全種に付属)

ラック・プレーヤー・アンプ用にご使用いただく際、設置面がフローリングや石材、棚板等の比較的硬いものであればフェルトシールを貼ってご使用ください。床面の保護ではなく、音質的なパフォーマンスに必須の付属品です。カーペット等、柔らかい設置面であれば貼り付けは不要です。スピーカーでご使用いただく場合は床面を問わず、貼らずに設置してください。



● 取付補助工具 (SM-5X・SM-5TX・SM-7X・SM-7FX に付属)

スピーカーキャビネットや大きなアンプの底部等、手が入りにくい場所への設置に便利な専用取付工具です。製品の側面2箇所にある穴に嵌めて挟み、位置出しにご利用ください。



・ Grand Series + SM-5TX (使用例)



別売オプション・その他の製品

● SM-7X・SM-7FX 用 スペーサーセット

6枚1組 (0.25mm / 0.5mm / 1mm 厚が各2枚)

高さ調整機構の無い脚に SM-7X または SM-7FX をご使用いただく際、床面とサイレントマウント底面の間に挟んでガタつきを調整します。

● スルーホール スパイク シリーズ

ミリ規格とインチ規格で各種サイズを展開

弊社のラック開発過程で誕生した専用の中空スパイクを、一般のラック・スピーカーでもご使用いただける規格にリメイクしました。サイレント/ソリッドマウントシリーズにもベストマッチの設計です。詳細は26ページをご覧ください。



・ Weefolk Board + SD-3 (使用例)





Title	Artist	Date	Name
1			
2			
3			
4			
5			
6			

Andante Largo

www.andante-largo.com

www.andante-largo.com

Title	Artist	Date	Name
1			
2			
3			
4			
5			
6			

Andante Largo

www.andante-largo.com

Title	Artist	Date	Name
1			
2			
3			
4			
5			
6			

www.andante-largo.com

Andante Largo

AL SLEEVE

ALスリーブ

レコード内袋

ラインナップ

- 12 インチレコード盤用
AL-25・・・25 枚入
AL-100・・・100 枚入(※)
AL-300・・・300 枚入(※)
- 10 インチレコード盤用
GL-25・・・25 枚入
GL-100・・・100 枚入
GL-300・・・300 枚入



※ AL300 と AL100 にはこちらの専用箱が 1 個付属



レコードの保管に最適な内袋とは？

夏場の蒸し暑さ、冬場の結露、またクリーニング等で、レコードは常に湿気にさらされています。また、静電気対策も非常に大切です。現在、内袋の素材としてメジャーなもの、そしてそれらのメリット・デメリットは下記の通りです。

- ▲ ビニール製：安価 / 湿気が逃げにくい / 経年劣化(ビニール焼け) / 静電気が起きやすい
- ▲ 一般の紙製：湿気が逃げやすい / 硬さゆえに傷がつく / 紙の発する粉塵が付着する

また、洗浄したレコードを裸で乾燥させるとホコリが再付着します。かといってビニールや紙の内袋に入れると上記のような問題が直面するため、扱いに悩む場面も多々あります。



グラシン紙&上質紙の2重構造

グラシン紙は柔軟性と通気性に優れた素材です。また紙の粉塵が非常に少ない、静電気を発生しにくい等のメリットがあり、内袋の素材として理想的な要素を多く持っています。その反面、強度が乏しい・高価等の理由であり普及することはありませんでした。

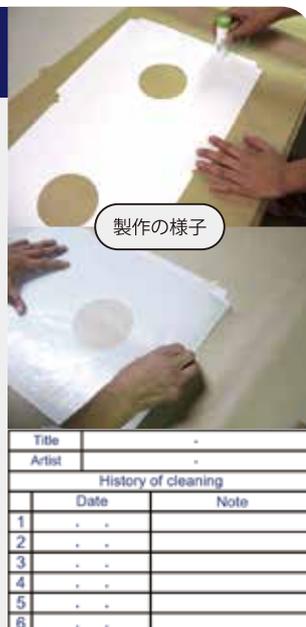
アンダンテラルゴは、この強度の問題を2重構造によって解決。内側にグラシン紙、外側に上質紙を使用することで、グラシン紙のメリットと耐久性を両立しており、安心して長くお使いいただけます。

また、レコードクリーニング後に(水滴をしっかりと拭き上げた上で)挿入すると、ホコリを防ぎつつ乾燥も可能です。大切なレコードを末永く愛用するために、おすすめいたします。

その他の「こだわり」

- 接着剤：経年劣化の心配の少なさから絵画の補修にも使われる澱粉糊を使用し1枚1枚手作りで製作しています。
- 四隅の丸カット：アウトージャケットからの出し入れを容易にしつつ、双方の損傷を防ぎます。また下側のカット部分は澱粉糊を塗って塞いでおり、下部からのホコリの侵入を防ぎます。
- メモ欄：タイトルやクリーニング履歴が記入できるメモ欄を裏面に印刷。中身の入れ替わりを防げるほか、定期的にレコードのお手入れをされる方にも便利な仕様です。

作りを簡略化して安価にすることは容易ですが、本シリーズの工夫には1つ1つ大きな意義があると考えております。手間とコストのかかる設計ではございますが、発表当時より一貫してこれを採用しています。



Title	-
Artist	-
History of cleaning	
Date	Note
1	..
2	..
3	..
4	..
5	..
6	..





SUPER-TMD

スーパー TMD

接点安定剤

ラインナップ

- STMD (スーパー TMD) : 綿棒のサンプル等も付属するオールインワン
STMD - 1.5・・・1.5ml
STMD - 3・・・3ml
STMD - 10・・・10ml

- POL (ポリッシュ) : 汚れの多い端子の事前清掃に
POL - 5・・・5ml



詳細

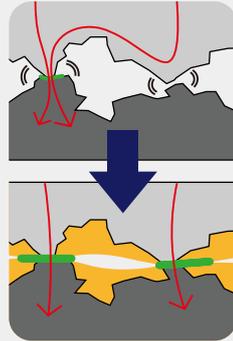
プラグの接点は、肉眼では美しく輝いて見えても、電子顕微鏡レベルの世界では非常に凸凹しています。それら同士を接続した場合、微細な接触不良が無数に発生することは、ご想像いただけるかと思えます。

これを更に悪化させるのは、音楽・映像再生時の振動です。接触不良の箇所が揺さぶられ、触れたり離れたりすることで信号の経路が目まぐるしく変わり、位相等々もバラバラになり、音楽・映像情報を著しく混濁させるのです。(右図上)

SuperTMD は、端子表面の微細な凹凸に浸透。接点の面積を広げつつ、地盤も強固にすることで「**確実な接点**」を増やし、情報を安定して伝送させます。(右図下)

また、SuperTMDの登場に際しては**新素材の投入も含め、配合を一新**。塗布に便利なハケも付属。従来品より**導電特性や持続性、作業性、そして音楽性が格段に向上**しています。

オーディオ・映像用機器の端子 (RCA/XLR/BNC/USB/LAN/カートリッジやアーム周辺/スピーカー/電源/真空管等々) に、幅広くお使いいただけます。



● 製品の成分
— 導通箇所
→ 信号の流れ
(イメージ図)

使用法 (施工が簡単になりました)

- ホームページや取扱い説明書にて、より詳細な施工方法や注意事項をご紹介しております
- 実際のご使用前には取扱説明書に記載の注意事項も必ずお読みになり、正しくお使いください。

① 塗布

Super TMD を接点にのみ薄く塗布する。接点以外に付いたものは、綿棒等で拭き取ります。その後 10 分ほど置き、成分を浸透させます。

② 拭き上げ

10 分経過したら、綿棒等で優しく拭き上げて完了です。その後すぐにご使用いただけますが、効果が十分に発揮されるまで 2~3 日を要します。

● より効果的な「2度塗り」

2度塗りすると、一段と高い効果と持続性を発揮します。上記手順の完了後、1時間ほど置いて①・②を再施工します。

● 汚れが目立つ端子には

SuperTMD には端子磨きの成分も少量含まれているため、従来製品ではセットとなっていた「ポリッシュ」が別売 (型番: POL-5/5ml 入) となりました。上記①・②の前に、ポリッシュを少量浸した綿棒等で表面を軽く磨き、拭き取ります。

● 定期メンテナンス

効果を高水準に保つため、6 ヶ月毎の定期メンテナンス (工程は①・②) をお勧めします。



① 塗布

↓ 10分後



② 拭き上げ

2ステップ
簡単施工

・ラインケーブルに



・入出力端子に



・レコードプレーヤーに



・デジタルに



・スピーカーに



・真空管に



・電源に



写真は使用例です。他、様々な端子にお試しください。

SuperTMD 比較セット (未塗布/塗布済ケーブル) の1週間お貸出しも承ります。詳細は 28 ページにて。



施工方法

Youtube にて
動画公開中

弊社ホームページまたは
←公式チャンネルにて





THROUGH-HOLE SPIKE

スルーホールスパイク

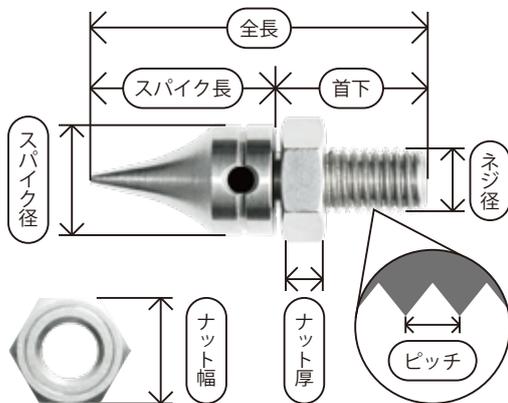
スパイク

ラインナップ

● ミリ規格 ● インチ規格

- TS-M6 TS-1/4
- TS-M8 TS-5/16
- TS-M10 TS-3/8
- TS-M10-Q TS-1/2
- TS-M12
- TS-M12-J

各4本入 / 専用工具付



(mm) (kg)

型番	ネジ径	ピッチ	全長	首下	スパイク長	スパイク径	ナット幅	ナット厚	耐荷重(1本)
M6	6	1.0	36	14	22	11	11	5	50
M8	8	1.25	40	18	22	13	13	5	50
M10	10	1.25	44	22	22	15	17	6	80
M10-Q	10	1.5	44	22	22	15	17	6	80
M12	12	1.25	44	22	22	16	19	6	80
M12-J	12	1.25	29	13	16	16	19	6	80
1/4	1/4"	1.27	36	14	22	11	11	5	50
5/16	5/16"	1.41	40	18	22	13	13	5	50
3/8	3/8"	1.59	44.5	22.5	22	15	17	6	80
1/2	1/2"	1.81	44.5	22.5	22	16	19	6	80

- 適合確認セットお貸出し中です。詳細は28ページへ(全種各1本入)
- 別途有償にてネジ部(首下)の短縮加工を承ります

詳細

アンダンテラルゴのラック開発時は、スパイクにも様々なこだわりを詰め込みました。特に軸部を中空にする「スルーホール」構造は、理想的な振動コントロールを実現しています。素材には、試聴により厳選した特殊ステンレスを採用しました。

これらの特徴をそのままに、一般のラックやアンプ、スピーカー等にご使用いただける規格に再設計したものが、スルーホールスパイクシリーズです。

一般のスパイク機構によく見られる「手で回すだけ」の高さ調整機構では、スパイク自身の遊びや共鳴を抑えることはできないため、機器本体の安定した動作にも悪影響を与えてしまいます。スルーホールスパイクでは、調整後に六角ナットで固定し、機器底面としっかり一体化。「スルーホール」による振動制御と相まって、機器本来の実力を引き出します。

ガタのない精密な高さ調整を可能にする専用工具も付属。お手持ちのシステムのグレードアップにおすすめです。1週間のお試し貸出し(28ページ参照)も承っております。

調整方法

● 詳細な取付・調整方法は取り扱い説明書にてご紹介しております

- ① 付属のスパナで六角ナットを緩める
- ② 側面の穴に棒を通し、回しながら高さを調整する。スパイク受けを使用している場合は、スパイク受けを回す重さが左右で同じかを参考に調整すると、比較的容易にセットできます(右写真)
- ③ 棒を持って共回りを防ぎつつ、六角ナットを締めて完了です。



・ TS-M8 と TS-M6



・ TS-M10-Q (使用例)



・ 棒で共回りを防ぎつつ、繊細な高さ調整が可能



ONE WEEK TRIAL

1週間のデモ機お試し貸出しについて

詳細

弊社の製品を、まずは1度お試しになってみませんか？ご自宅で、ぜひゆっくりお確かめください。また製品の性質によっては、現在お持ちの機器とサイズ等が適合するか、確認が必要なケースもございます。**アンダンテラルゴでは、お客様へ直接、そして無料にて製品（デモ機）を1週間お貸出ししております。**

ご利用規約やデモ機のラインナップをご確認の上、お気軽にお申し込みください。（弊社は輸入・製造元のため、販売は全国のオーディオ販売店様に一任しております。直接販売や電話・メール等による勧誘は一切ございませんので、お気軽にお申し込みください。）

ご利用規約

- ・お貸出し期間は原則、**1週間**です。実際のお貸出し製品にもご返送日（お客様より弊社宛にご発送いただく期日）を記載したメモを同梱しておりますので、ご確認ください。
- ・お貸出し点数は、**1度に3点（3セット）まで**とさせていただきます。
- ・送料は双方元払い（お貸出し時は弊社負担、ご返却時はお客様負担）となります。
- ・弊社からの発送は土日・祝日を除いた平日のみとなります。
- ・製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がございます。そのためデモ機と後日ご購入時の製品の仕様・価格は異なる場合がございます。
- ・万一製品の紛失、破損があった際は実費を請求させていただく場合がございます。
- ・リストにない製品のお貸出しを希望される場合は、事前にお電話にてご相談下さい。

ラインナップ（1回につき3点まで）

- ・ Grand Tower 683 (※) ・ Rigid Tower 683 (※) ・ Weefolk Board 各種 (※)
- ・ Silent Mount / Solid Mount 各種 ・ Through Hole Spike 各種 （※ 棚板は「KT」形状）
- ・ SuperTMD 比較セット ・ その他、コードカンパニー製品（弊社輸入製品）等

お申し込み方法①（推奨）

弊社ホームページにお申し込みフォームをご用意しております。**お貸出し機器の一覧も、フォームからご覧いただけます。**

右のQRコードを読み込んでいただくか、アンダンテラルゴ公式ホームページ内の「One Week Trial（1週間お試し貸出し）」ページをご参照ください。



お申し込み方法②（ネット以外でのお申し込み）

FAX・お手紙でのお申し込みも承っております。（電話でのお申し込みは、ご住所やお貸出し内容等のすれ違いを防ぐため、ご遠慮ください。）

上記のご利用規約を確認の上、「氏名・送り先のご住所・日中ご連絡の取れる電話番号・ご希望の製品（3点まで）」を必ずご明記いただき、下記の番号・宛先へお申し込みください。

FAX：042-394-7155

住所：〒189-0013 東京都東村山市栄町2-31-16-201 アンダンテラルゴ株式会社

○お貸出し内容の確認のため、弊社担当よりお電話させていただく場合がございます。

○その他ご不明な点は0120-77-3412（月～土 / 10時～18時）へお気軽にご相談ください。

・GT683（使用例）



・SM-7X（使用例）



・TS-M8（一式）





Example of How To Use

ユーザー様ご使用例

設置例 および ユーザー様ご使用例



GB540 & SM-3TX



GB540 & SM-3TX



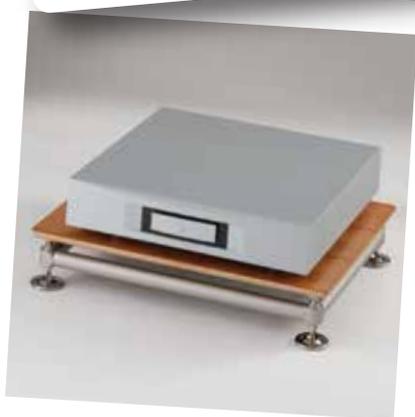
How to Replace



GT683 & SM-5TX



ALT12 & SM-5X



ALB12 & SM-5X



RT683,GT503,GS541,GS491
WF320, ALB12 and S.M.



SM-7X



ALB12 & SM-5X



ALT600
(GARRAD 401 Board)



GT683



RT684
(EMT930 Board)



Through Hole Spike



GT683



RT683



RT683



GT744 & SM-5TX



SM-7FX



ALT600, SM-5X,
WF-320 and SD-3



WF-470 & SD-3



GT744 & SM-5TX



ALT520 & SM-5TX



WF-470 & SD-3



ALB12/2 & SM-5TX



GT744 & SM-5TX



AL Sleeve



AL Sleeve



TS-M8 & SM-5X



RT684 & SM-5TX



GB540 & SM-3TX



GT744, RT684
and SM-5TX



SM-7X



RT865
& ALB12/2



RT865, ALT600,
ALB12, and SM-5TX



SM-7FX



SM-7FX



RT503
& SM-5TX



ALT600, SM-5TX,
ALB12 and SM-3TX



SM-7X



SuperTMD



SuperTMD



SuperTMD



SM-7X



RT683 & SM-5TX



Andante Largo Standard

アンダンテラルゴの3つの音質評価スケール

なぜ、そのようなスケールを設けるのか？

アンダンテラルゴでは大きく分けて3つの音質評価スケールを自社製品の開発、輸入製品の評価、システムのセッティング等に一貫して採用しています。

メーカーとして「良い音」を提供するにはまず、どういった状態が「良い音」なのか？という明確な基準を定める必要があります。そして（漠然とした「感覚」ではなく）その基準をもって設計・選定した製品のみをラインナップしてこそ、安心して弊社取り扱い製品をお選びいただけると考えています。

下記3つのメソッドは弊社内だけのものではありません。皆様が機器の試聴をされる時はもとより、ご自身のシステムのセッティングやグレードアップの基準としてもお試しください。

①「楽器と楽器」のセパレーション

システムをセッティングするにあたり、楽器の前後・左右の位置や存在の明確さをリアリティとして追求する人は少なくありません。しかし弊社の考えとしては、それはあまり問題ではないのです。

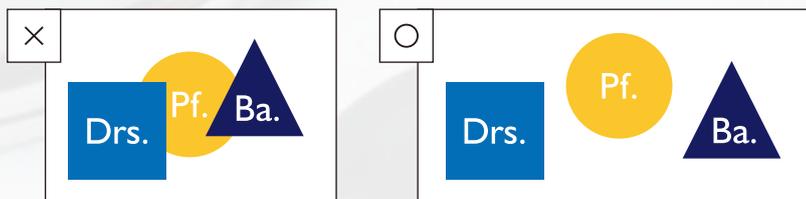
これには反論される方もいらっしゃると思いますが、例えばアコースティックギターでも、自然な環境の中で弾いてもらい目をつむると、どこで演奏しているのか、サウンドホールがどこにあるのか、意外と分からなくなるものです。ピアノも同様で、良いコンサートホールではピアノ自体から音が聴こえるというよりも、その部屋の空気全体に音が満ち満ちているのです。そこには美しい音色と豊かな響き（倍音）が聴こえています。要するに本来の「自然な音」は楽器の位置がはっきりとしないことが多いのです。

ところがひとたび、システムから音楽を鳴らすと「あの人はここで歌っている」とか「Aの楽器はあそこで、Bの楽器はここにいる」とよく言われます。私共にとってそのような音の出方は、十分な倍音がまだ出ていない状態だと考えます。本当の音に近くなればなるほど、「ここ」や「あそこ」が重要ではなくなる。むしろその方が本来の姿に近い、「自然な音」であると考えています。

もちろん精度が上がると指で指せる、場所がわかるということは、決して間違いではありません。ただ問題なのは、そのことばかりを追求していくと、とても不自然な音に陥ってしまうことなのです。

そこで私どもが重要視していることの一つは、楽器間のセパレーションです。例えば一般的なオーディオで3重奏の曲を聴いてみますと、それぞれの楽器の音が折り重なって聴こえることがあります。また小音量の伴奏が、大音量の主旋律にかき消されている、というケースもよくあります。絵画で言えば、壁に掛った複数の絵がお互いに被さって見える状態で、非常に不自然です。絵画の世界ではそうないことですが、これが音楽再生の世界では高確率で発生しているのです。

ジャズトリオのピアノ・ドラムス・ベースも、全てがまとまって聴こえるのではなく、ピアノはピアノで独立して聴こえ、ドラムはドラムで手に取るように聴こえ、ベースはベースではっきり旋律を奏でてこそトリオの演奏になります。それでこそ彼らが異なる3つの楽器と旋律を受け持つ意味があるのです。



ビッグバンドの演奏でも、ブラスが大音量で鳴る中に1本のアコースティックギターがいるならば、例えば小さな音であっても、はっきりと聴こえてほしいのです。作曲家は最も目立ちにくいパートにも、そのささやかな旋律が必要だからスコアに書いています。ですから、音量の大小にかかわらず、楽器同士の音は「被らず」明瞭に再生されることが重要なのです。

②「一音一音」のセパレーション

もうひとつ大事なセパレーションは、楽器の一音一音がその前後の音とは別々に、はっきりと聴こえることです。例えば、スラー記号でもない限りは「ド・レ・ミ」という様に聴こえるのが理想です。ところがちょっとでも再生音に歪みが増えると、一気に「ド〜レ〜ミ」と繋がってしまいます。このセパレーションも、私どもは非常に大切であると考えています。

優れたクラシックギターの演奏では、1つの音を出した後、しっかりと指でグリッップして音を止めてから次の音を出しています。「ドレミ」ではなく、「ド・レ・ミ」という具合です。テンポが早くても遅くても「ド・レ・ミ」と弾いています。それによって本当に一音一音がとても（次ページへ→）

きれいに響くのです。(それを完璧に実践した巨匠が、アンドレス・セゴビアです。ゆったりとした曲でも、超絶技巧の速い演奏でも、一音一音をはっきりと奏でています。グレン・グールドも一音一音を切って、むしろ強調し過ぎな程に弾いています。だからこそ、彼らの演奏は非常に速いフレーズでも一音一音が明瞭に、美しく聴こえるのです。)

オーディオの場合も全く同じだと考えています。例えばグラつかないようにしっかりとセッティングされたスピーカーから、素晴らしい音楽が奏でられていたとします。そこであえて僅かなグラつきをスピーカーと床との間に与えると、それだけでもう音が混ざり合い、繋がり合い、到底美しい音とは言えない状態になります。

前後の一音一音も混ぜることなく明瞭に再生すること・・・これは優れた演奏家の技術・情熱を忠実 (=Hi-Fidelity) に再生するために欠かせないポイントなのです。



③「高い音と低い音」のセパレーション

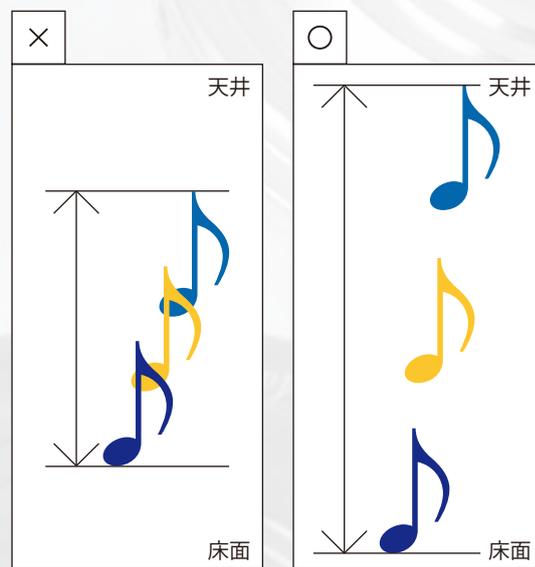
次は、「高い音と低い音」のセパレーションです。「高い音」や「低い音」という言葉はいつごろから使われ始めたのでしょうか？英語でも高い音を High note または High frequency と呼んでいます。きっと古来より使われてきた言葉だと思いますが、言語の違いに関係なく自然と高い音は上の方から聴こえるように感じ、そのままに表現してきたのでしょうか。これは私達ヒトが生まれながらに持つ、素晴らしい感覚だと思えます。ですから自然に近い音は高い音が上の方から聴こえ、低い音は地を這うように下の方から聴こえるのです。

同様に、優れたシステムでは「高い音」はスピーカーより遥かに高いところから、「低い音」はずっと低いところから聴こえてきます。逆に、少しでも歪みのあるシステムでは「高い音」も「低い音」もみなスピーカーの辺りからしか聴こえなくなります。

また高音、低音が中音域に寄った「団子状態」は、受け取り方によってはパワフルに聴こえることで「良し」される事もあります。しかし上記の考えに当てはめてみれば、本来の音楽の姿であるとは言えないと思うのです。

ご参考にお聴きいただきたい曲は、パガニーニの「24の奇想曲5番」です。ヴァイオリンの旋律が低い弦から徐々に上がり、もっと上がり、またもっと上に……という美しいフレーズがあり、音階の上がり下りの感覚がとてもよくご理解いただけると思えます。

高い音はより高い所から、低い音は地を這うように低いところから響く・・・それこそ、音楽で最も大切な要素の1つである「コントラスト」の美しさを存分に享受できるのです。



メソッドに耳を集中させ、僅かな音の違いを判断する

「自分はセッティングのプロではない。それでも良い音・良い音楽が好きだ」という方は沢山いらっしゃいます。同時に、オーディオに限らずとも、趣味の色々は本来自らの感性で選ぶもの、他人にとやかく言われたくないものです。

しかしこれがメーカーとなりますと、漠然とした感覚だけで決める訳にはいきません。

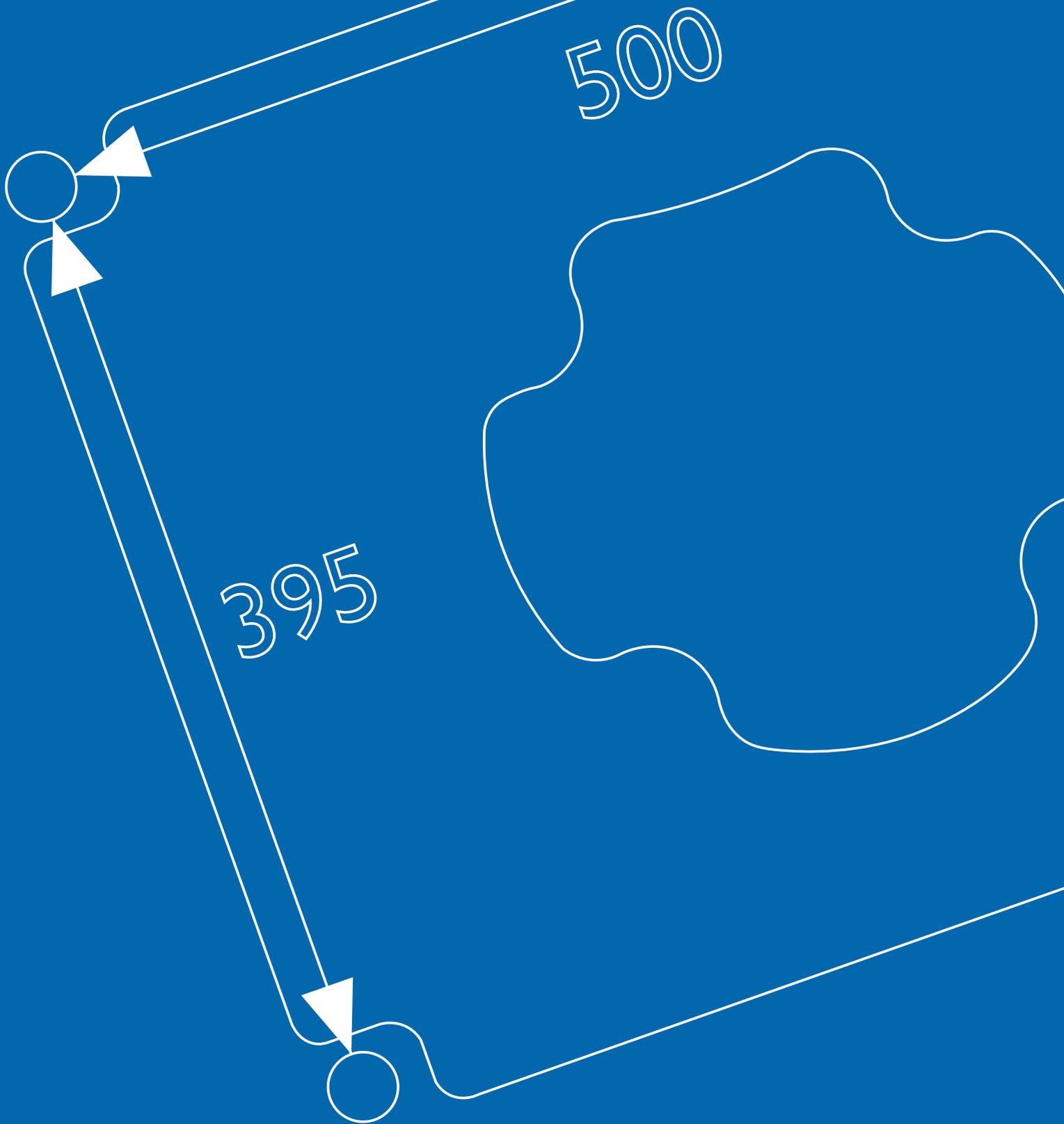
私共は製品開発に際して、多くの選択肢の中から最善のものを選定します。例えば素材5種類を比較して良いものを選ぶ時、事前に分かる特性等ではなく、先入観の入らないブラインド試聴のみを唯一の方法としております。実際の製品を例にとりますと、スパイク受け「サイレントマウント」の設計においては、非常に複雑な組み合わせで数十通りの試作品を作り、ベストを試聴から選びました。またラック類の棚板のくり抜き形状、材質・接着剤の選択においても、30種類以上の試作品をテストしました。特にくりぬき形状に至っては、最終的に1mmステップで追い込んだものもあります。

このようなことを第三者の方にお話しすると、「そんな微妙な差がわかるのか？」と言われる。実際のところ、数値上では僅かな違いしか無いと思われる比較もあります。しかし上記の3つのポイントに集中して聴き比べると、ごくわずかな差でも非常に大きくクローズアップされて良否の判断ができるのです。

ぜひ1度、お試しください。

アンダンテラルゴ 株式会社





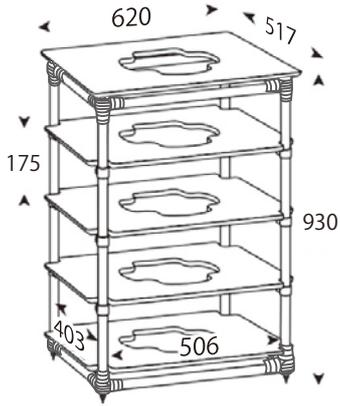
Dimensions & Options

寸法表 および 各種オプション

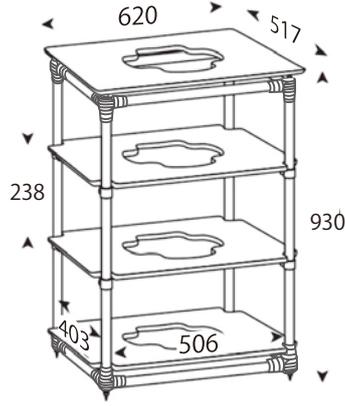
(製造上、記載の数値から多少の誤差が発生する場合がございます)

Grand Tower (グランタワー / 製品詳細は4ページにて)

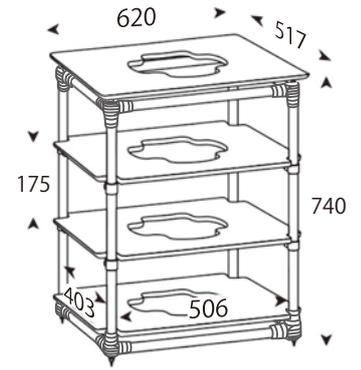
- ラック全体での耐荷重：250kg
- 1段あたりの耐荷重
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)
→3点脚の機器・複数台は40kg(// 70kg)
- 特厚板については46ページへ



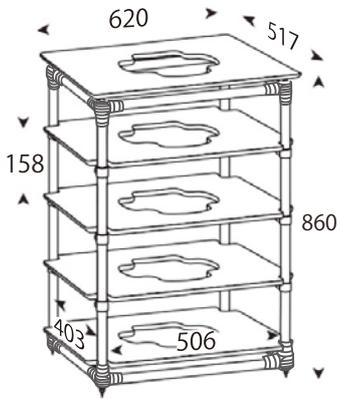
GT935



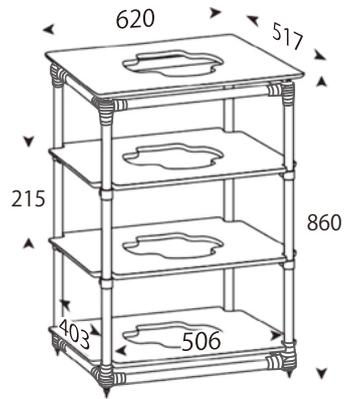
GT934



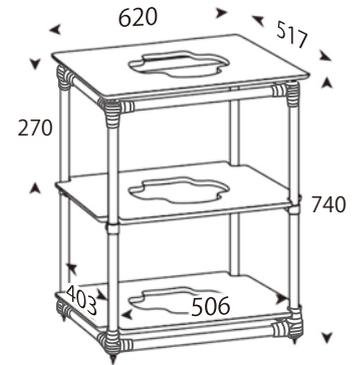
GT744



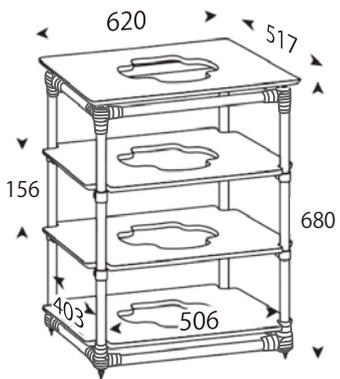
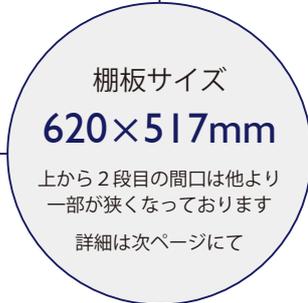
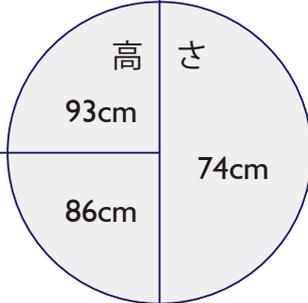
GT865



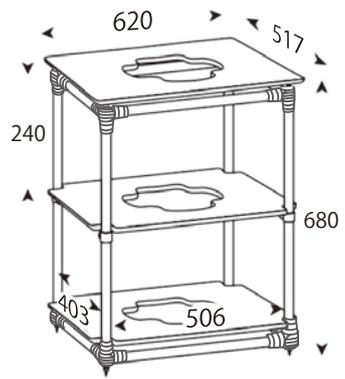
GT864



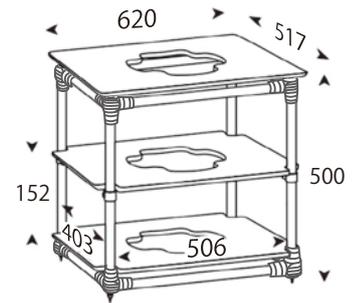
GT743



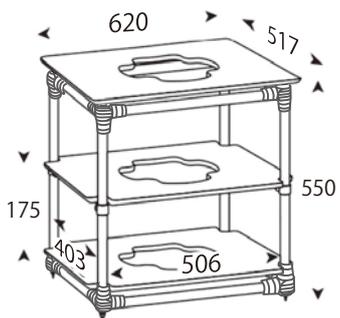
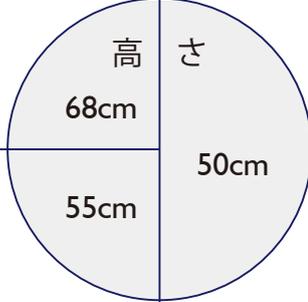
GT684



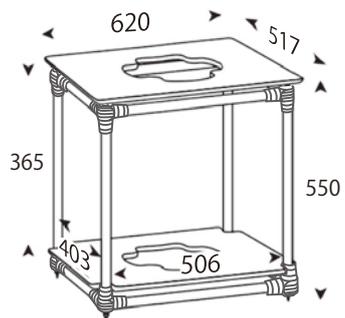
GT683



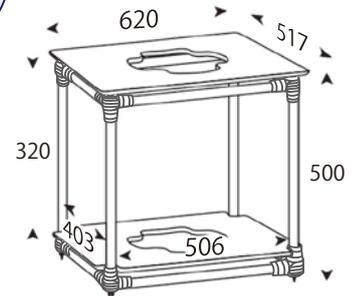
GT503



GT553



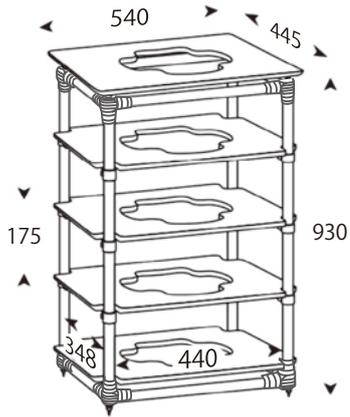
GT552



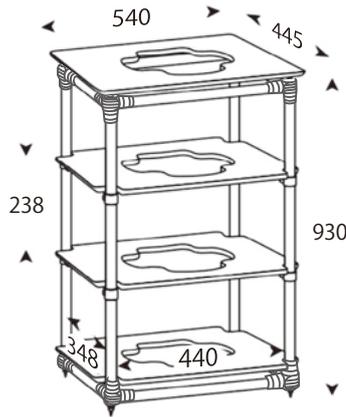
GT502

Grand Tower Mid (グランタワーミッド / 製品詳細は4ページ)

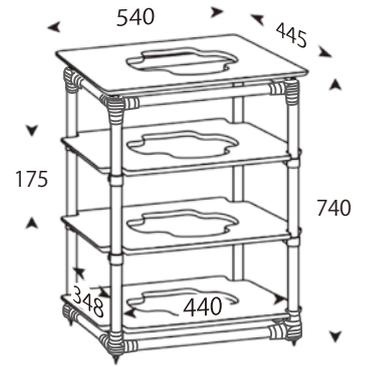
- ラック全体での耐荷重：250kg
- 1段あたりの耐荷重
→4点脚の機器は50kg (特厚板使用時80kg)
→3点脚の機器・複数台は40kg (" 70kg)
- 特厚板については46ページへ



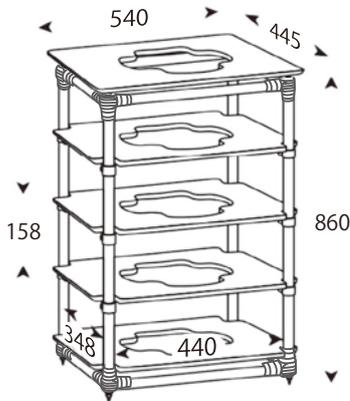
GT935 Mid



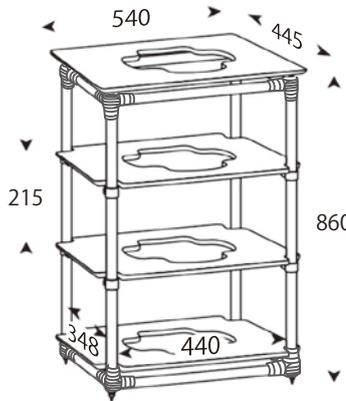
GT934 Mid



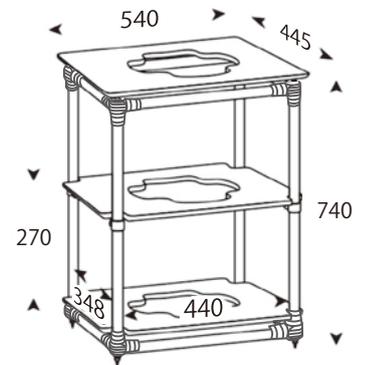
GT744 Mid



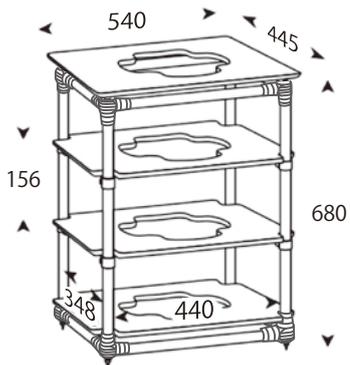
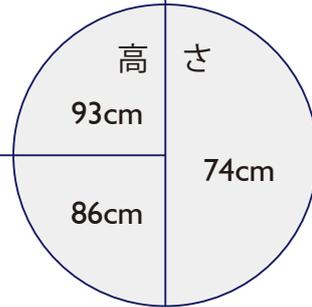
GT865 Mid



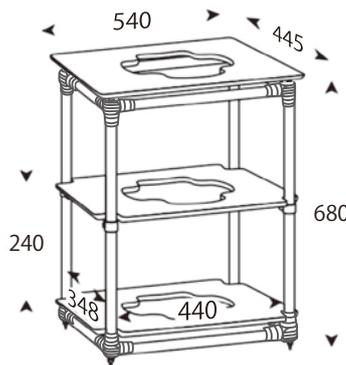
GT864 Mid



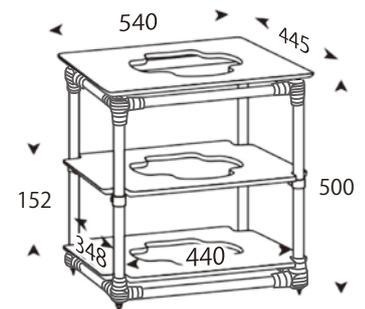
GT743 Mid



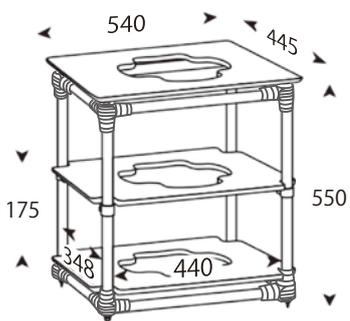
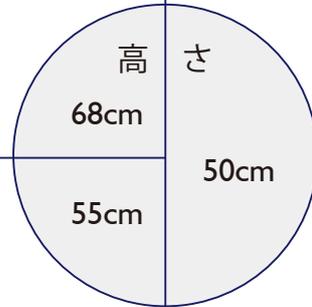
GT684 Mid



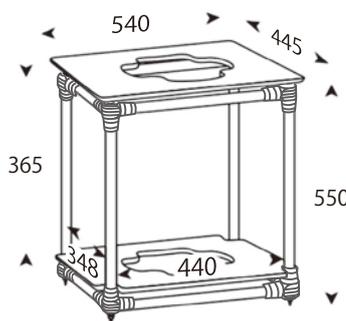
GT683 Mid



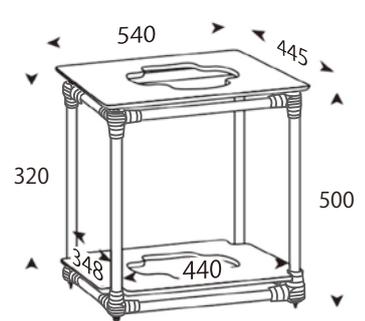
GT503 Mid



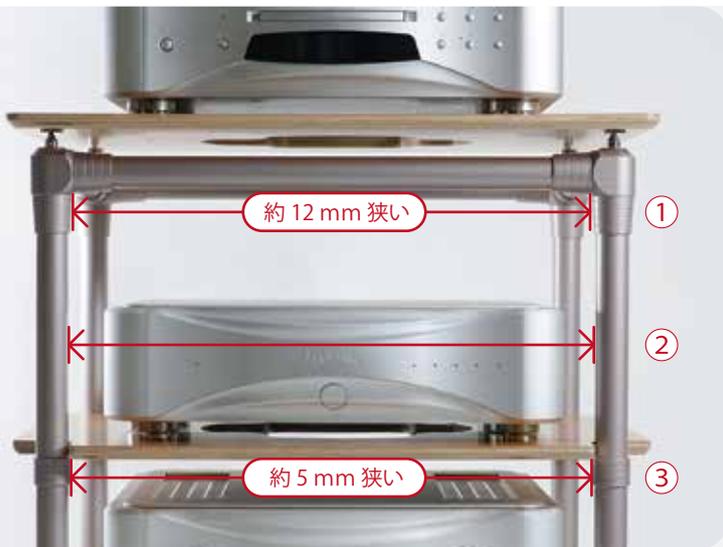
GT553 Mid



GT552 Mid



GT502 Mid



ご注意 (グランタワー/グランソロ)

ジョイントの形状により、間口が一部が狭くなっておりますのでご注意ください。

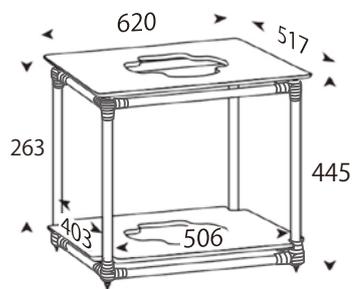
- ・左右方向は①が他の部分②より-12mm
- ・左右方向は③が他の部分②より-5mm
- ・上下方向は左右両端④が他の部分⑤より-6mm

「寸法表」におきましては、他の段と共通となる②と⑤の数値を記載しております。左右と奥の間口につきましても、上記と同様となっております。

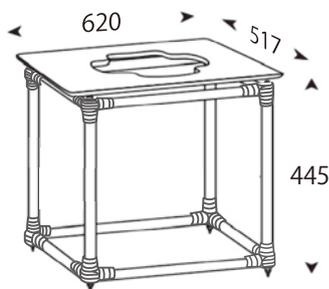
また、特厚板(46 ページ参照)を装備した段も3mm上下方向が狭くなりますのでご注意ください。



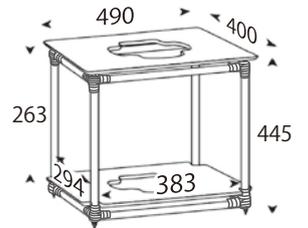
Grand Solo (グランソロ / 製品詳細は4ページ)



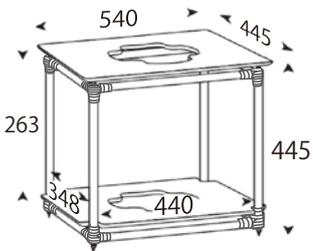
GS622



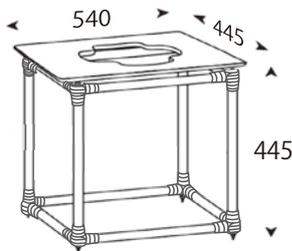
GS621



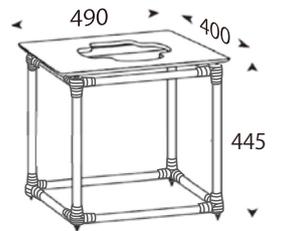
GS492



GS542



GS541



GS491

高さ
445mm

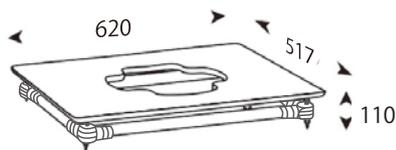
2段モデルの下端は上部が
少し狭くなっております

詳細は上記
「ご注意」にて

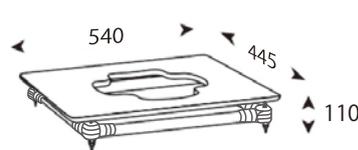
- ラック全体での耐荷重：160kg
- 1段あたりの耐荷重
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)
→3点脚の機器・複数台は40kg(// 70kg)
- 特厚板については46ページへ

Grand Base (グランベース / 製品詳細は4ページ)

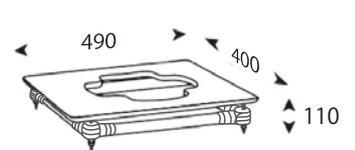
高さ
110mm



GB620



GB540



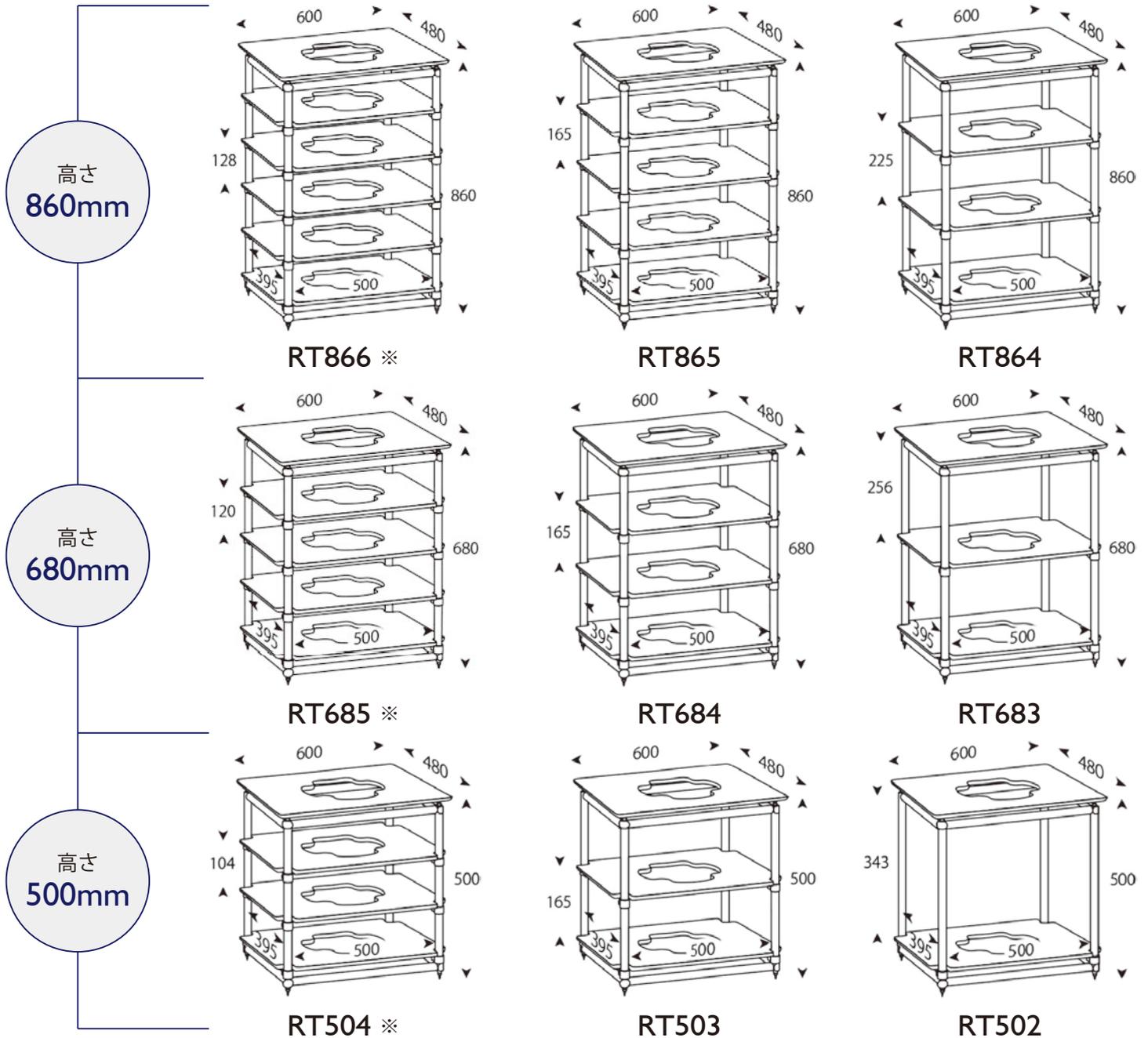
GB490

- 耐荷重
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)
→3点脚の機器・複数台は40kg(// 70kg)
- 特厚板については46ページへ

Rigid Tower (リジッドタワー / 製品詳細は8ページ)

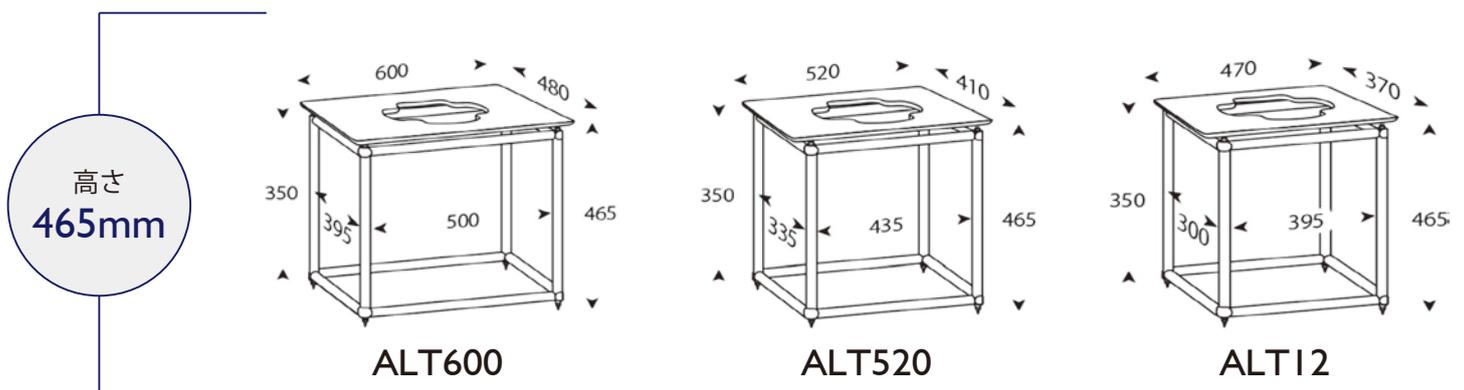
- ・中間段ブラケットの付近は間口が表記の数値より約4mm狭くなりますのでご注意ください(全種)
- ・モデル名横に「※」が記載の製品は中間段の四隅の形状が多少異なります。詳細は次ページへ

- ラック全体での耐荷重：250kg
- 1段あたりの耐荷重
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)
→3点脚の機器・複数台は40kg(// 70kg)
- 特厚板については46ページへ



- 耐荷重
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)
→3点脚の機器・複数台は40kg(// 70kg)
- 特厚板については46ページへ

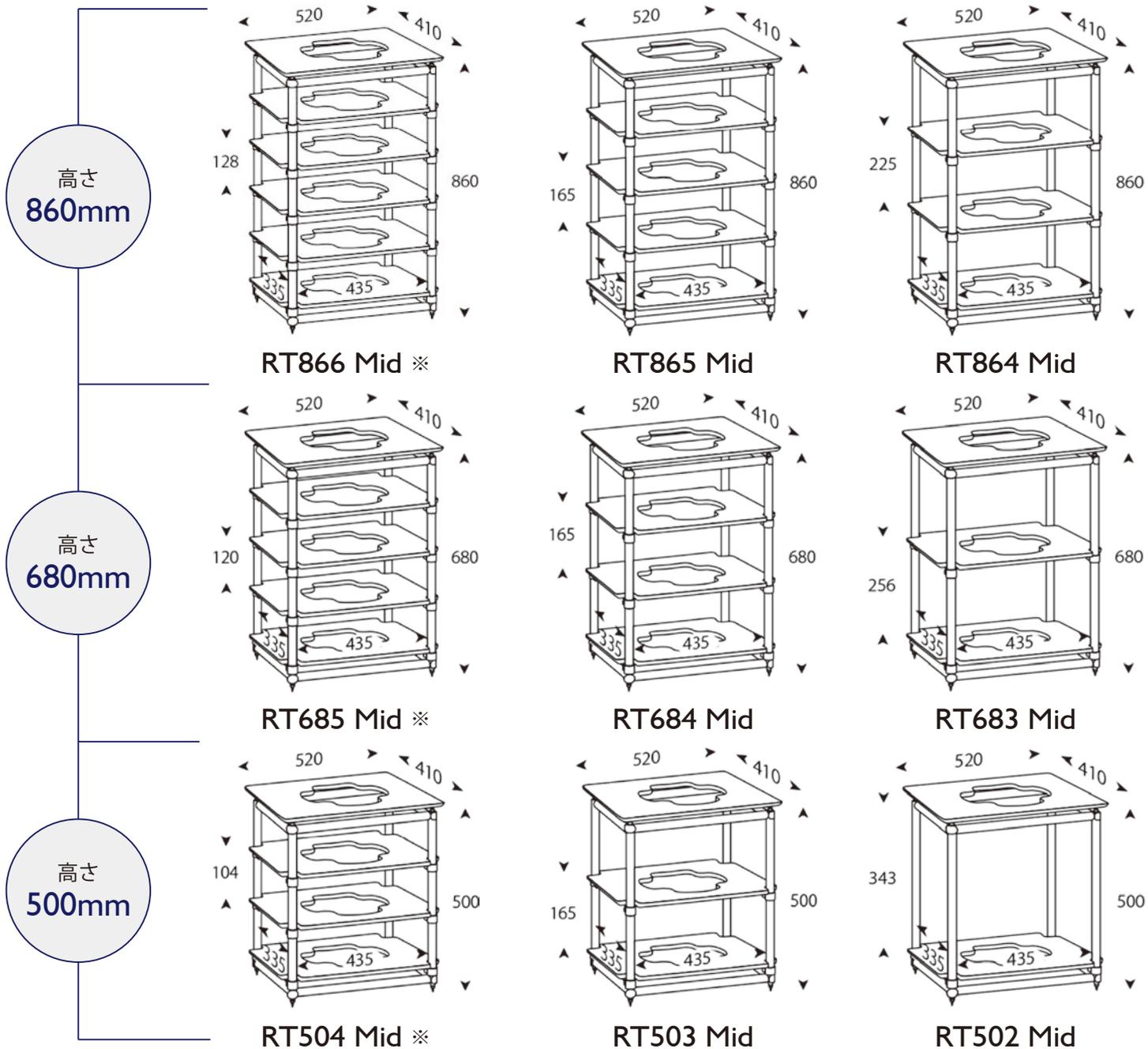
Rigid Table (リジッドテーブル / 製品詳細は8ページ)



Rigid Tower Mid (リジッドタワーミッド/製品詳細は8ページ)

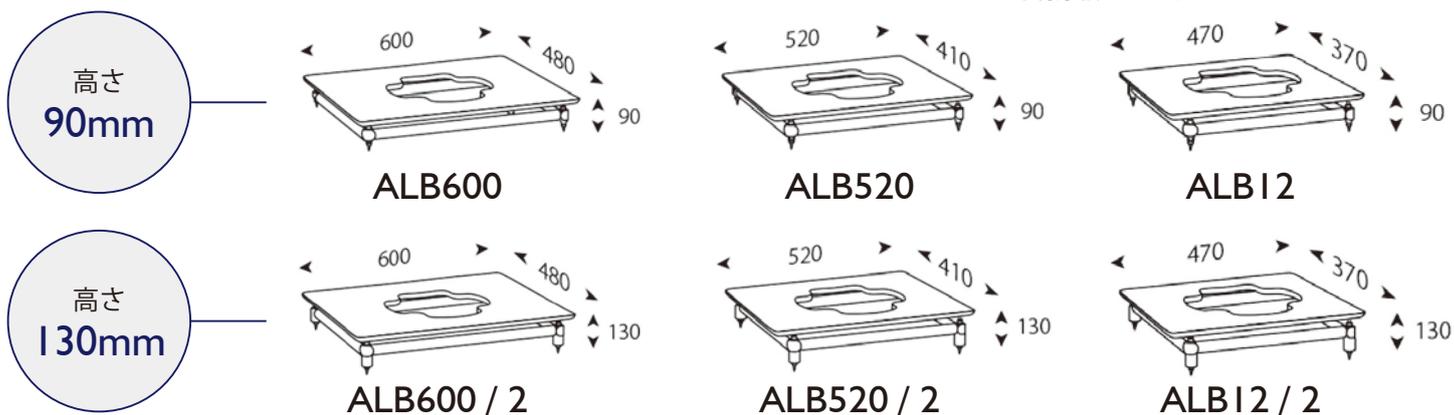
- ・中間段ブラケットの付近は間口が表記の数値より約4mm狭くなりますのでご注意ください(全種)
- ・モデル名横に「※」が記載の製品は中間段の四隅の形状が多少異なります。詳細は次ページへ

- ラック全体での耐荷重：250kg
- 1段あたりの耐荷重
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)
→3点脚の機器・複数台は40kg(// 70kg)
- 特厚板については46ページへ



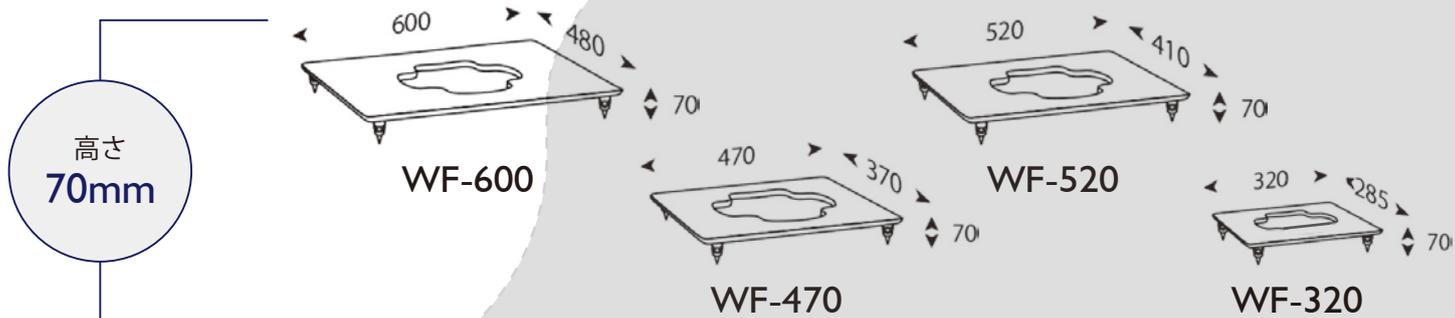
Rigid Base (リジッドベース/製品詳細は8ページ)

- 耐荷重
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)
→3点脚の機器・複数台は40kg(// 70kg)
- 特厚板については46ページへ



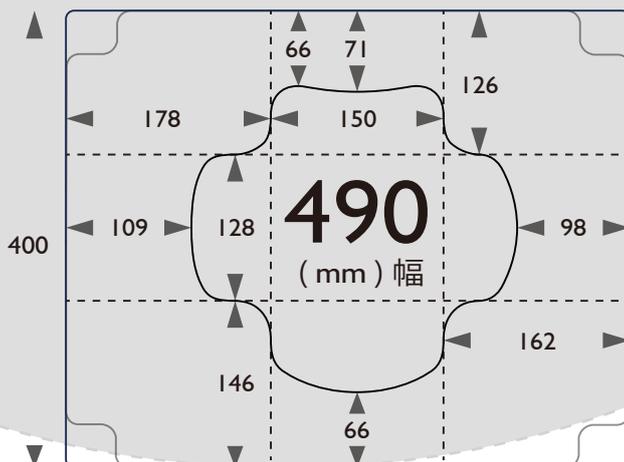
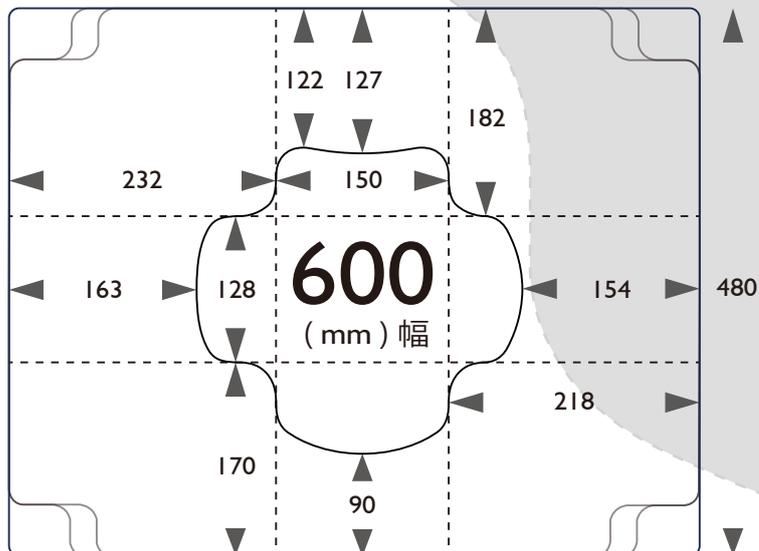
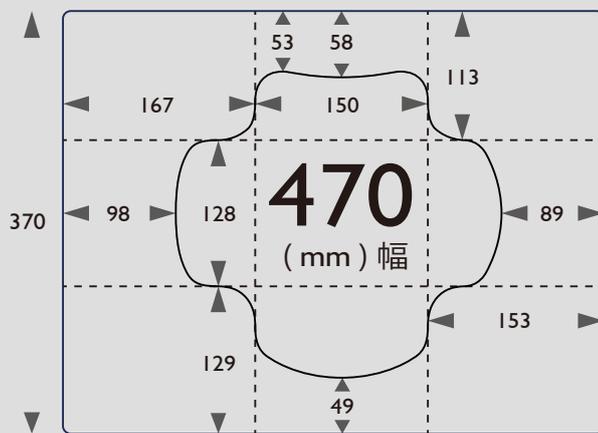
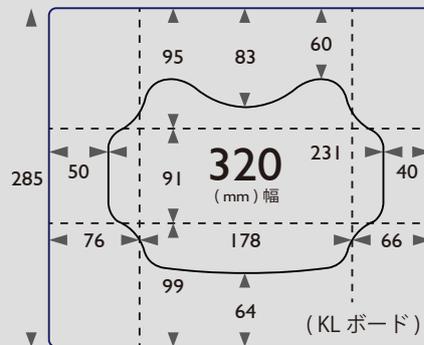
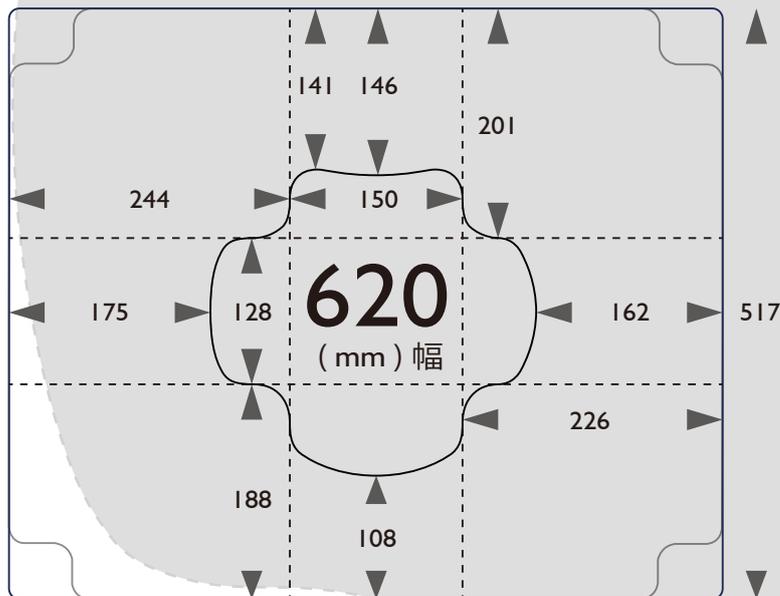
Weefolk Board (ウィーフォーク ボード / 製品詳細は12ページ)

- 耐荷重 (特厚板の設定はございません)
- 4点脚の機器は 40kg
- 3点脚の機器・複数台は 30kg

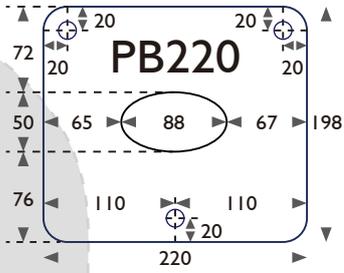


KT Board のくりぬき形状 (グラッドシリーズ・リジッドシリーズ・ウィーフォークボード / 穴無しもご用意しております)

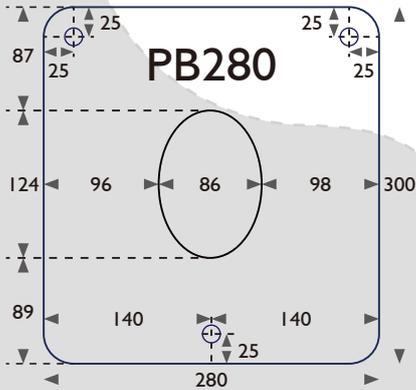
- 製造上、数mmの誤差が発生する場合がございます。予めご了承ください。
- こちらに表記されていない箇所の寸法や、その他オプション棚板 (46ページ参照) の寸法はお気軽にお問い合わせください。
- 320mm幅 (WF-320) は、KLボードのみのラインナップとなります。
- RT866・RT685・RT504はMidモデルも含めて、中間段の四隅の切り欠きが大きくなります。



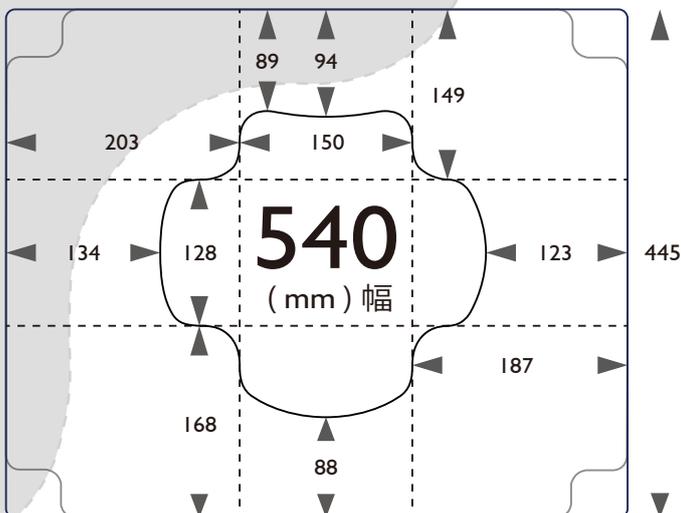
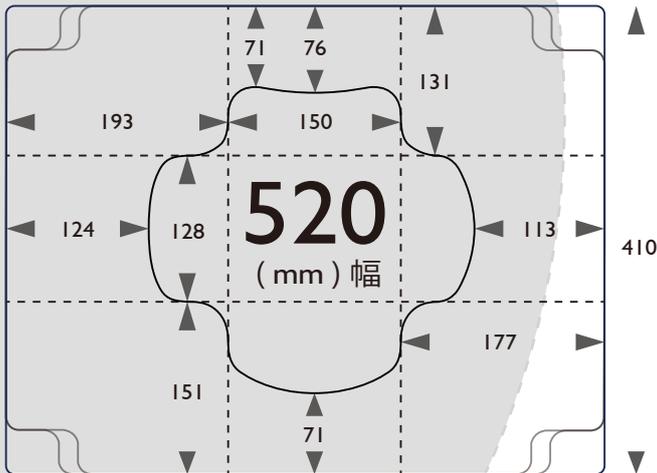
有料オプション (グラウンドシリーズ・リジッドシリーズ)



四隅の R : 20mm
スパイク径(裏面) : 16mm



四隅の R : 25mm
スパイク径(裏面) : 16mm



本ページのグレー部分はKTボードの実寸大くりぬき形状です。(印刷の都合等で多少ずれる場合がございます)

● チタントップマウント

トップマウント(棚板のスパイク受け)を、付属のステンレス製から交換してアップグレード。サイレントマウントテクノロジー搭載による2重構造(17ページ参照)です。

音の美しさと静けさ、ストレスのない空間の広がり、より明瞭な音階と豊かな低音など、ラックの効果を一段と高めます。

キャンセルリング



チタン製ボディ

トップマウント
(写真は標準のステンレス製)



● ロングトップスパイク

- ① ロングトップスパイク 10
- ② ロングトップスパイク 20

棚板を支えるスパイクの延長バージョン。棚板を① 10mmまたは② 20mm上へ移動できます。



● ソリッドベースアタッチメント

適合製品

GS491・GS492・GB490・ALT12・ALB12・ALB12/2

LINN LP12の原型に近いソリッドベース底板専用設計したアタッチメント。(最上段の)棚板と交換して取り付けます。



● ビスポーク(特注)カラー

フレーム・棚板の色を特注にてご指定いただけます(無償の標準カラーは次ページをご参照ください)。

弊社の色見本のほか、お客様ご自身がご用意された色見本(機器や家具など)に寄せる形での製作も承っております。

技術的に再現の難しい色もございますが、まずはお気軽にご相談ください。



無料 オプション (グランドシリーズ・リジッドシリーズ)

ラック類の価格に段数分の棚板等は含まれており、下記の内容に変更されても追加料金はいただきません。機器変更や紛失等により部品の単品販売をご希望の方は、お気軽にご相談ください。

● カラー

色見本のお貸出し (28 ページ) も承ります。

棚板は 3 色 (上から)

- ・ナチュラル
- ・ブラウン
- ・ブラック

フレームは 2 色

- ・シルバー
- ・ブラック



ナチュラル
×
シルバー



ブラウン
×
シルバー



ブラック
×
シルバー



ナチュラル
×
ブラック



ブラウン
×
ブラック



ブラック
×
ブラック



● 棚板の厚さ

14.4mm厚が標準ですが、重量級な機器を搭載される場合のみ、**17.4 mm 厚の特厚板**をご指定ください。下記の**耐荷重**も超過する場合は、事前に必ずご相談ください。

- 標準板に 4 点脚 : 50kg まで
3 点脚・複数台 : 40kg まで
- 特厚板に 4 点脚 : 80kg まで
3 点脚・複数台 : 70kg まで
- ラック全体の耐荷重 (寸法表に記載) にもご注意ください

17.4mm 特厚板 (15 層)

特厚板を使用した段は、標準板より上下の間口が 3 mm 狭くなります

● 棚板の形状

複数をご用意しております。KT ボード以外の寸法はお問い合わせください。KT・KL・ブランクは中間段にもご指定可能です。



KT ボード (標準)



(穴が小さい)

KL ボード



(穴なし)

ブランクボード



S ボード (LP12 等に)



EMT930 ボード



ガラード301 ボード^(※)

(※ 401 用も有 / Ortofon・SME アーム等に対応)

ラック類の内容品について

- グランドシリーズとリジッドシリーズ：本体フレーム / 棚板 (段数分) / 棚板用スパイク (段数分) / トップマウント (棚板用スパイク受け・段数分) / 脚部スパイク / 脚部のガタ調整用工具 (スパナ・棒)
- ウィーフォークボード：本体 (脚部ベース付き) / 脚部スパイク / 脚部のガタ調整用工具 (スパナ・棒)
- プリモボード：本体 (脚部スパイク付き) / スパイク受け 3 個 / ロゴ銘板

MEMO

● アンダンテラロゴ製品の保証期間は、お買上げ日より3年間^(※)です ●

万一の故障の際はご購入時のレシートのコピーを添え、裏表紙に記載の住所へお送りください。輸送に専用箱が必要な製品に関しましては、事前に弊社へご相談ください。期間内において製品の設計や製造不良に起因する故障と判明した場合、無償で修理・交換させていただきます。

レシートのコピーが無い場合や、製品以外の原因によるトラブル(衝撃や水分など/その他弊社規定による)は、期間内でも保証修理対象外(有料での修理や交換)となります。その他ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

(※ SuperTMD シリーズは、製品に表記の使用期限までが保証期間となります)

MEMO







←公式ホームページ
SNSなど

本カタログの表示価格は全て税込です
より良い製品づくりのため、仕様や価格等は
予告なく変更させていただく場合がございます
2025年4月3日発行(2.5k)

アンダンテラルゴ 株式会社

〒189-0013 東京都 東村山市 栄町 2-31-16-201

フリーダイヤル(10～18時/日曜&祝日を除く): 0120-77-3412

TEL: 042-393-3412

FAX: 042-394-7155

メール: info@andante-largo.com

ホームページ: www.andante-largo.com

取扱ブランド: アンダンテラルゴ・コードカンパニー・イングリッシュエレクトリック